



JAみえ健保 すくらむ

ウォーキング総集編



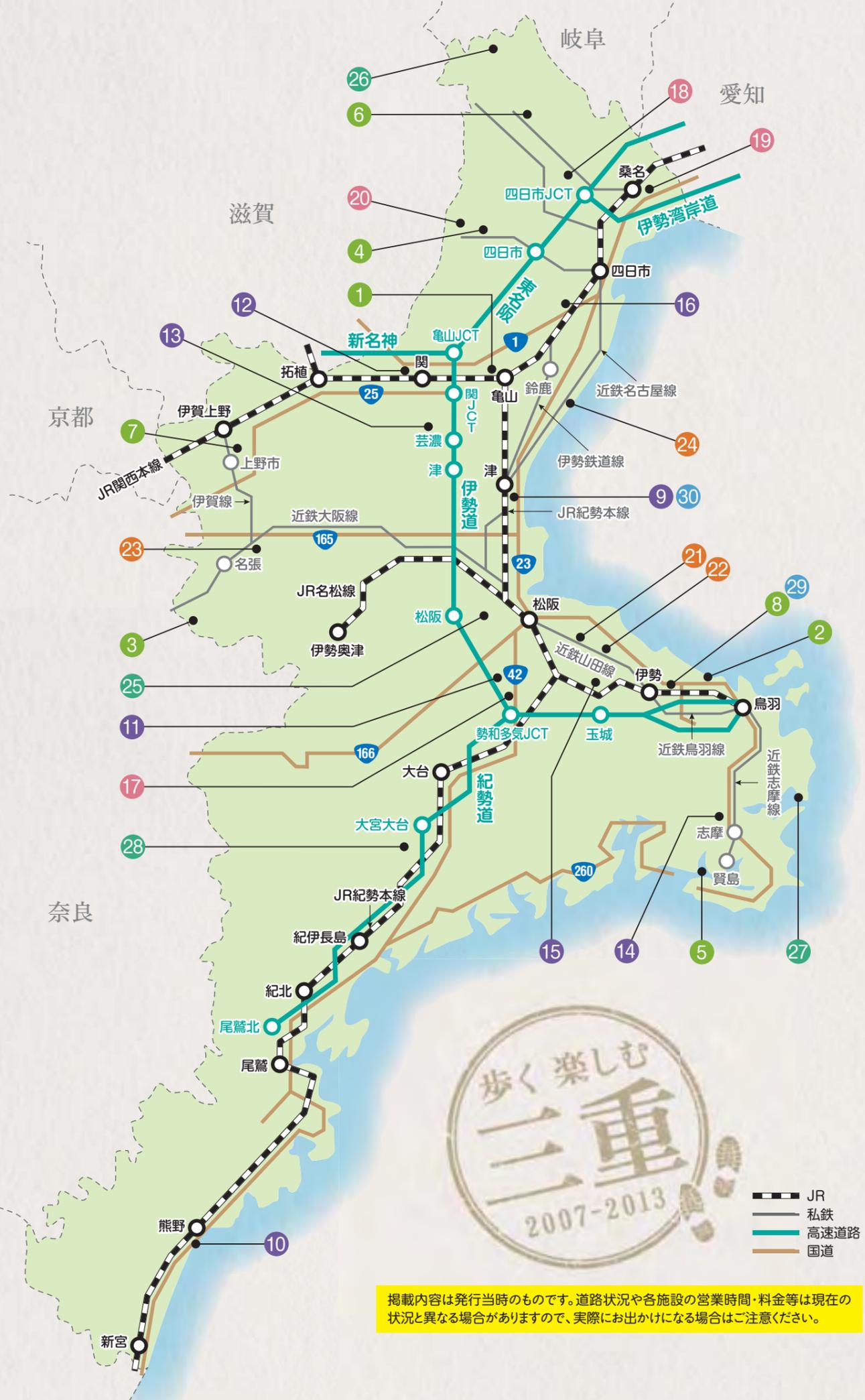
## すくらむ“ウォーキング総集編” 発刊にあたって

昭和49年11月1日に設立された当健康保険組合は本年11月をもちまして40周年という記念すべき年を迎えます。これもひとえに関係諸団体のご支援、そして事業主並びに被保険者にご家族の皆様のご協力、ご厚情の賜物と深く感謝申し上げます次第です。

さて、当健康保険組合では、皆様と健保を結ぶパイプ役として機関誌「すくらむ」を発行しています。皆様の健康づくりに役立つ情報や、保健事業の計画や時事ニュース、制度の仕組みや現況、旅行情報、料理のレシピなどバラエティに富んだ内容となっていますが、中でも2007年度から続く三重県内のウォーキングコース等を紹介する企画は、スタッフが実際に現地に出かけて取材している人気企画です。

そこで、健保設立40周年を迎えるにあたり、今までの取材記事を手に取って一覧できる“ウォーキング総集編”を発行することにいたしました。情報は多少古くなっている部分もありますが、皆様の休日の健康づくりにお役立ていただければと思います。ぜひご家庭に持ち帰ってご家族でお読みください。

三重県農協健康保険組合



掲載内容は発行当時のものです。道路状況や各施設の営業時間・料金等は現在の状況と異なる場合がありますので、実際にお出かけになる場合はご注意ください。

CONTENTS もくじ

ゆったり、のんびり ウォーキングMie

2007年度	春号	号 1 亀山	4
	夏号	号 2 二見浦	6
	秋号	号 3 赤目四十八滝	8
	冬号	号 4 菟野	10
2008年度	春号	号 5 浜島	12
	夏号	号 6 いなべ市	14
	秋号	号 7 伊賀市・上野城下町	16
	冬号	号 8 伊勢市・外宮～河崎	18

ゆったり、のんびり 歴史街道ウォーキングMie

2009年度	春号	号 9 伊勢街道	20
	夏号	号 10 熊野街道	22
	秋号	号 11 射和～伊勢本街道	24
	冬号	号 12 東海道関宿～坂下宿	26
2010年度	春号	号 13 伊勢別街道(椋本～楠原宿)	28
	夏号	号 14 磯部道(恵利原～上之郷周辺)	30
	秋号	号 15 伊勢本街道(田丸～東池上)	32
	冬号	号 16 東海道(日永～采女)	34

花と水に親しむウォーキング

2011年度	上期号	号 17 丹生大師と立梅用水をめぐる道	36
	下期号	号 18 コスモス畑と清流・員弁川をめぐる道	40
2012年度	上期号	号 19 風薫る六華苑と七里の渡跡をめぐる道	44
	下期号	号 20 近畿の奥座敷・湯の山温泉で晩秋の紅葉を愛でる道	48

プチ列車旅で楽しむ One Dayウォーキング

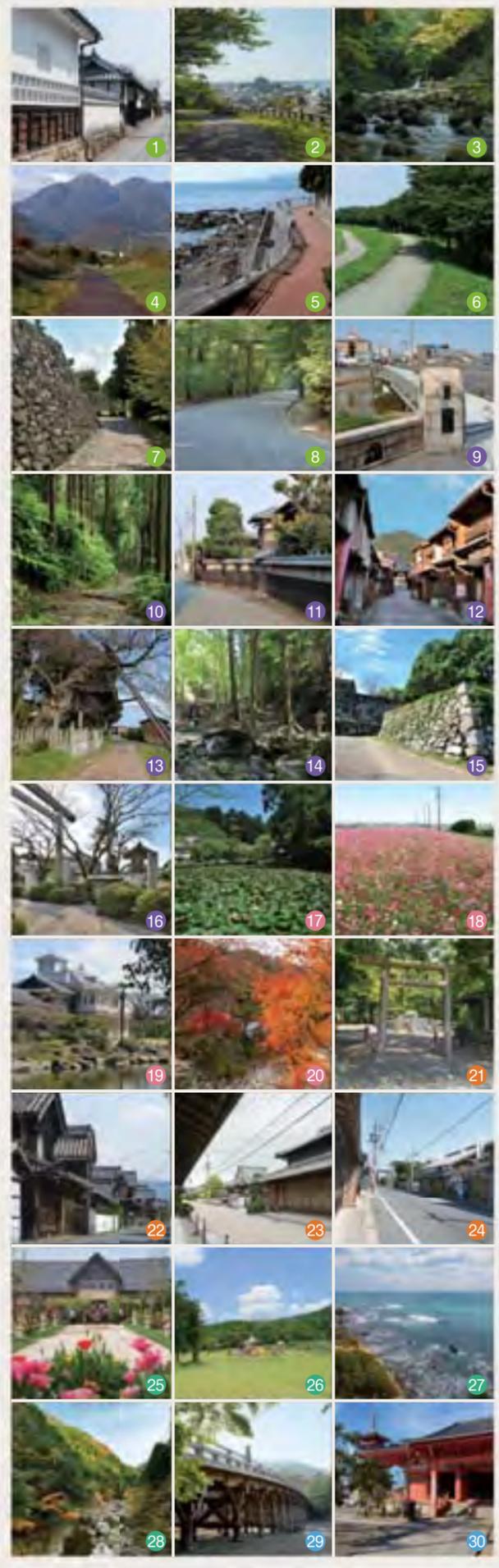
2013年度	上期号	号 21 王朝ロマンにみちびかれて 齋宮の歴史街道を歩く	52
	上期号	号 22 いにしへの旅人が行き交った 神宮へ続く道を歩く	54
	下期号	号 23 自然の中での古墳を数えながら お伊勢さんに続く初瀬街道を歩く	56
	下期号	号 24 大黒屋光太夫ゆかりの地と 鈴鹿の古い街並を歩く	58

気分転換ちょっとお出かけ

2011年度	上期号	号 25 松阪農業公園ベルファーム	60
	下期号	号 26 いなべ市農業公園	64
2012年度	上期号	号 27 海女と漁師の町「相差」	68
	下期号	号 28 奥伊勢フォレストピアと 清流宮川・秋の紅葉	72

ぶらり街なか散歩

2013年度	上期号	号 29 伊勢市(外宮周辺・河崎地区)	76
	下期号	号 30 津市(橋内地区・橋北地区)	80



歴史に触れる城下町

# 亀山



旧東海道

旧東海道が市内を横断する亀山市街地。亀山城を中心にして東西2.5kmに及んだ亀山宿は、東海道五十三次・46番目の宿場町として栄えました。歴史の名残が感じられる街道を、爽やかな風に吹かれながら歩いてみましょう。

**JR亀山駅**  
二之丸帯曲輪  
日本武尊の墓で知られる能褒野神社の鳥居がそびえる亀山駅前からスタート。北に向かい県道565号を



またぐ陸橋を渡ると、ゆるやかな上り坂。その先にカラー舗装された旧東海道が現れたら、斜め右に曲がり蔵や格子戸が残る町並みを歩きます。坂の途中には、亀山城の二之丸御殿を移築した遍照寺や、石段が美しいでころば坂もあります。鉤形に曲がる道を進み、2つめの信号を左折。住宅街の先に二之丸帯曲輪が現れます。敷地内の小学校を改築する際に発見され、遺跡を再現したものです。



**亀山公園**  
石井兄弟敵討碑  
森閑とした亀山公園に入り散策路を登ります。高台は芝生公園につながっており、自然を満喫できます。園内に建つ亀山市歴史博物館の前を過ぎ、一度一般道に戻ります。南に下る坂を左折し、しょうぶ園に入ります。約100種・2万本の花しょうぶは、6月上旬から中旬が見頃です。コースに戻り、急な坂道を登りきると心形刀流で有名な



亀山神社です。隣接する亀山城多門櫓は市民に親しまれ、県内で唯一現存する城郭建造物は県史跡指定。城跡のすぐ下、池の側のほとりに建つ石井兄弟敵討碑。城を背にして歴史の道を歩き進みます。



## 加藤家長屋門

### JR亀山駅

病院の角を右折し石畳の舗道を歩きます。市文化財指定の加藤家長屋門と土蔵の前を左折。鉤形の道を進み、旧東海道に出ます。住宅の門や格子戸に、江戸時代の屋号の看板が掲げられています。その中に明治6年建築の商家・旧館家住宅もあります。



加藤家長屋門



さらに西に進み、歌川広重の「東海道五十三次 亀山・雪晴」の舞台になった京口門跡を歩きます。坂を下り左折、南方に見えてくる宗英寺のイチョウ。県天然記念物指定、樹齢600年の大木は見ごたえがあります。進路を東に変え、小川を渡りアップダウンする坂道の先が終点です。

さら



江戸時代の屋号の看板

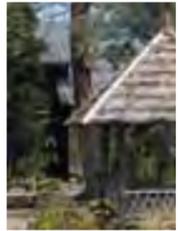
### 寄り道 温泉

**白鳥の湯**  
（亀山市総合保健福祉センターあいあい内）  
ウォーキングの疲れもほぐれる天然温泉。内風呂と露天風呂があり、低料金がうれしい。泉質：ナトリウム塩化物・炭酸水素塩温泉  
料金：一般150円、65歳以上100円、12歳未満50円  
●電話 0595-84-3311  
●営業時間 10:00～20:00（受付は19:30まで）  
《火曜定休（祝日の場合は翌日）・年末年始休業》



### 寄り道 グルメ

オーガニックカフェ&レストラン  
**月の庭**  
食材や調味料にこだわり、独自のレシピに人気の高いレストラン。未来食ランチ（1,500円）や、雑穀や野菜を中心としたメニューが揃う。  
●電話 0595-82-0252  
●営業時間 11:00～22:00（14:00～17:00はカフェのみ）  
《月曜定休・夏季休業あり》



**瑞寶軒**  
伊勢銘菓「亀乃尾」  
滝つぼの亀にはねて散る「ちら玉」になぞらえて造り上げた亀甲型の餅菓子。厳選した小豆を独自の製法で作った練り餡を求肥で包んでいる。  
●電話 0595-82-3331  
●営業時間 8:30～19:00  
《木曜定休》



### 寄り道 JA

**JA鈴鹿亀山支店**  
亀山市東御幸町78-4  
電話 0595-82-1161  
亀山支店では平成15年から「亀楽市」と名づけたファーマーズマーケットを開催しています。毎週木・日曜の朝8時から11時、敷地内で朝採りのいちごや花、旬の野菜や加工品を中心に販売しています。ぜひ一度ご来店ください。



心地よい潮風を感じる

# 二見浦

2007年度夏号

- ◆ウォーキングコース全長／6.5 km
- ◆所要時間／約2時間30分(施設観覧時間を除く)



「日本の渚百選」にも選ばれた二見浦海岸

二見浦の海岸は、かつて「清渚」と呼ばれ、伊勢神宮を参拝する旅人たちが汐水を浴び、心身を清める禊場でした。美しい浜と海に囲まれた伊勢志摩国立公園のなか、潮風を連れて歩いてみましょう。



二見浦駅は夫婦岩をモチーフにした近代的な建物

## JR二見浦駅 御塩殿神社

古代、倭姫命がこの地の美しさに二度振り振り返り見たことから「二見」の名が生まれたと伝わる二見町。今回のコースは二見浦駅からスタート。国道42号沿いを東に進み、緩やかな坂道が現れてきたら「音無山」のウォーキングコースの始まりです。遊歩道は、樹木が陽射しを遮ってくれるので快適。山頂の展望台からは伊勢湾が一望できます。



海を眺めながらの遊歩道は日陰も多くて快適

## 二見海水浴場 夫婦岩

神社に隣接する中学校の脇道から海岸に出ます。二見浦海岸は、日本の渚百選にも選ばれており、白砂青松を今に残しています。砂浜を東に進むと、日本で初めて開設された海水浴場「二見浦海水浴場」に入ります。心地



御塩殿神社

よい潮風と砂の感触を楽しみましょう。さらに進み、堤防沿いに旅館街と海岸線の間を進むと、右手に見えてくる格調高い建物が県指定有形文化財の「賓日館」です。明治20年に神宮参拝の賓客の宿泊施設として建設、現在は資料館として公開されています。すぐ近くの二見興玉神社には有名な「夫婦岩」があります。左手に眺めながら海岸線の道をさらに進みます。



夫婦岩

賓日館

が「太江寺」です。天平年間に僧行基によって開かれたと伝わる古刹で、重要な文化財の千手観音菩薩像を有します。先ほどの道に戻り、日之出橋を渡って国道を右折。川沿いに進むと道の反対側に「松下社」と「民話の駅・蘇民」が並んでいます。車の往来が多いので、その先の横断歩道を渡ります。蘇民将来の伝説が残る松下社には、樹齢千年以上の大楠があります。隣接する民話の駅・蘇民では地元産の農産物や工芸品などが販売されています。国道の横断歩道を渡り小川沿いの道を進むと、ゴールのJR松下駅です。



太江寺



### 寄り道 温泉

**二見温泉 蘇民の湯**  
(ホテル清海内)  
二見で数少ない天然温泉。硫黄・ナトリウムを含む塩化物強塩冷鉱泉は、良質療養泉としても人気が高い。  
●効能：神経痛・筋肉痛・関節痛・慢性消化器病ほか  
●料金：大人 1,000円(タオル付)  
●営業時間：15:00～23:00(受付は22:00まで)  
●電話：0596-43-2046(ホテル清海)



### 寄り道 グルメ

**家庭料理 扇屋**  
JR二見浦駅のすぐ前に店を構える扇屋は、地産地消にこだわったレストラン。伊勢エビ・松阪牛・玉城豚など地元食材がおいしくいただける。ごはんはもちろん二見米を使用。  
●営業時間：11:00～21:00(20:30オーダーストップ)  
●木曜定休 ●電話：0596-43-3890



### 五十鈴勢語庵

厳選された上質の小豆に「伊勢二見岩戸の塩」を加え、その他の添加物を加えずに練り上げた。塩味の効いた甘みが上品。  
●営業時間：8:00～20:00  
●定休日：不定休  
●電話：0596-42-1212



塩ようかん 530円

### 寄り道 JA

## JA伊勢二見浦支店

伊勢市二見町茶屋302-2  
電話 0596-42-1101  
二見浦支店では、高設イチゴの生産が主力です。支部内16の農家が毎年11月から5月までアキヒメを生産し、県内や愛知県に出货しています。品質の高さから評判も上々です。今の季節は夏野菜の出荷が盛んです。

錦に彩られる

# 赤目四十八滝



◆ウォーキングコース全長／6.2 km  
◆所要時間／約2時間40分(施設観覧時間を除く)

約1300年前、役の行者が滝で修行していると、不動明王が赤い目をした牛に乗って現れたという伝説が残る地、赤目。この地名はここから生まれました。季節毎に美しい景観で観光客やウォーカーを魅了する赤目四十八滝。今回は紅葉の美しい季節に、オゾンを感じながら歩いてみましょう。



日本サンショウウオセンター



延寿院

バス停・赤目滝  
日本サンショウウオセンター

三重と奈良の県境を東西に流れる滝川の上流、約4kmにわたって続く美しい渓谷が赤目四十八滝です。近鉄大阪線「赤目口」から出ている三重交通バス「赤目滝」行きは終点で下車。門前町のみやげ物を売るお店が並び、観光客で賑わっています。

すぐ左手の坂道を登ると、赤目不動尊が鎮座する「延寿院」があります。日本三大不動のひとつとも言われ、国指定の重要文化財である石灯籠が歴史を感じさせてくれます。

コースに戻りみやげ物店の前を300m程歩くと、滝の入り口「日本サンショウウオセンター」が現れます。世界中から集められたサンショウウオ

を鑑賞しながら進み館内を抜けると、いよいよ赤目四十八滝の始まりです。

## 不動滝／千手滝

滝川沿いの平らな道を行き滝・霊蛇滝など、小さな滝を横目に進みます。



不動滝



布曳滝

造られた石の階段を上ります。かなり急で足元も悪いので注意しながら歩きます。上りきったところで、今度は下り坂に。この坂の下に現れる滝が「布曳滝」です。滝つぼ30m、高さ30mから流れ落ちてくる一筋の滝は、まさしく一反の

最初に会おう名瀑は「不動滝」。高さ15m、幅7mの滝は、橋の上から鑑賞できます。少し険しくなってきたコースを進むと、川幅も広くなり大きな岩が目立ちます。

八畳岩と呼ばれる岩の先には、最初の茶店があります。この茶店の前から「千手滝」の優美な姿を臨むことができます。複雑な岩をすべり落ちる水が美しいラインを作り上げています。



千手滝

## 布曳滝／荷担滝

滝川にかかる橋を渡り、川の右岸に



●安全なウォーキングのために  
千手滝前茶屋、百量岩前茶屋の他、コース内の4か所に新たに緊急用電話を設置。スピーカー施設も増設され、より安心してウォーキングができるようになりました。

## 寄り道 温泉

赤目温泉  
隠れの湯  
(ホテル対泉閣(たいせんかく)内)



近畿地方でも有数のラドン含有量を誇る。さらりとした軟らかな泉質で、趣向を凝らした露天風呂や大浴場、貸し切り風呂が楽しめる。

- 効能：神経痛・筋肉痛・冷え性ほか
- 料金：大人 1,050円、小人 630円(タオル販売あり)
- 毎月26日の「風呂の日」は半額
- 営業時間：10:30～19:00(土日は16:00まで)
- 電話：0595-63-3355(対泉閣)



荷担滝

## 寄り道 グルメ

### 大日屋

赤目滝バス停前、自然に溶け込む黒い柱と大きなガラスの外観を持つ大日屋。地元食材を贅沢に使った「伊賀くの一食」は人気のメニュー。10月からはまつたけを使用した「忍者定食」もおすすめ。



伊賀くの一食 1,500円。地元産伊賀肉と伊賀米を使用。

### 上田屋

全国菓子大博覧会で栄誉金賞を受賞した瀧草もち。地元で採れた天然よもぎを使用し、柔らかな風味も豊かで観光客に人気が高い。

- 営業時間：9:00～18:00
- 定休日：赤目四十八滝が入山禁止の日
- 電話：0595-63-3014



赤目四十八滝「瀧草もち」焼もち・草もち いずれも1個100円

## 寄り道 JA

### JA伊賀南部名張西支店

名張市夏見96  
電話 0595-63-0360

名張西支店では、管轄内にある青蓮寺湖ぶどう組合と連携し、ぶどうの生産に力を入れています。青蓮寺湖ぶどう組合では、生産物出荷のほか、夏から秋のぶどう狩りや春のいちご狩りを実施し、観光客から好評を博しています。

城下の名残と田園風景が広がる

# 菰野

2007年 冬号

- ◆ウォーキングコース全長／5.9 km
- ◆所要時間／約2時間（施設観覧時間を除く）



「日本の渚百選」にも選ばれた二見浦海岸

湯の山温泉にほど近い菰野町市街地。江戸期には石高一万二千石の大名・土方氏が数代にわたり統治した城下町でした。鈴鹿山麓に広がる田園風景と点在する史跡をめぐりながら冬の菰野を歩いてみましょう。

## 近鉄・菰野駅、東町商店街

御在所岳が間近にそびえ、近鉄湯の山線が走る菰野町市街地。今回のコースは、菰野駅からスタートです。駅の南側の丘陵地帯を目指して歩くと「見性寺」の豪壮な山門が見えてきます。



見性寺

この寺は菰野藩主・土方氏の菩提寺で、藩主の愛用した鎧や旗、文献などの文化財を所蔵しています。

コースに戻り西に向かうと、美しい鈴鹿山脈の峰々を望めます。田園風景の中を歩き、踏切を渡り進む

とひときわ目立つのが「日下部の柿の木」。武家屋敷跡にそびえる柿は、幹の太さが2mを超え、今も実をつけています。コースを東にとり、「東町商店街」を歩きます。この商店街は昭和の雰囲気が漂い、映画のワンシーンを見ているようです。

## 庄部神社、福祉公園・足湯

商店街を左に曲がり、国道477号を越え北に進みます。右手に広い敷地の「庄部神社」が見えてくるので、さらに進み三滝川にかかる庄部橋の手前を川沿いに進みます。この小径は散策が楽しめるジョギングコースになっています。



菰野石の灯ろう



広々とした風景を楽しみながら進むと、国道306号にかかる菰野大橋に出ます。この橋上から見る御在所岳は見事です。

橋を渡り、菰野石の灯ろうの前を左へ下りてゆき「福祉公園」の足湯でひと休みしましょう。菰野町福祉センター内に整備されたこの足湯は、誰でも自由に利用することが出来ます。



福祉公園の足湯

## 如来寺、近鉄・中菰野駅

足湯で疲れをほぐしたら、再び菰野大橋を渡りコースに戻ります。閑静な住宅街を歩くと見えてくる白壁の「如来寺」。大きな森に囲まれた寺は心が和みます。ここからは国道を少し歩きます。横断時には車に注意して

ください。先ほどの柿の木

の交差点に出たら、右折。湯の山線沿いに進みます。右手に菰野小学校が見えてきたら、その敷地の隅に「菰野城跡」の碑が立っています。今では城跡の面影もありませんが、小学校の周囲には史跡を紹介する案内板が立っています。国道の高架の下を進むと、赤い鐘つき堂が鮮やかな「智福寺」。涅槃絵像で有名です。ここからいったん回りこむように北に進み「道の駅・菰野ふるさと館」に立ち寄り



如来寺



菰野城跡



## 寄り道 JA

### 三重四日市 菰野支店

菰野町大字菰野1098-1  
電話 059-393-2167

支店前の直売マーケット「四季菜」でこだわりの商品が販売しています。「四季菜」はJA三重四日市が展開するマーケットで管轄内に8店舗あります。菰野大豆を使った豆腐や納豆をはじめ、地元産の材料を使った加工品と新鮮でお値打ちな野菜がおすすめです。



## 寄り道 温泉

湯の山・絵野温泉

### 自助の湯

((協)三重県勤労者福祉センター希望荘内)

湯の山の絵野高原の地下深くから湧く天然泉。ラドンを多く含む低張性弱アルカリ性温泉は、体の疲れをほぐすだけでなく、療養泉の効果も大。

- 効能：痛風・高血圧症・慢性婦人病・神経痛・筋肉痛ほか
  - 料金：大人 500円(貸しタオル付)
  - 営業時間：11:00～21:00
  - 電話：059-392-3181 希望荘
- ※近鉄湯の山温泉駅からの送迎あり(要電話連絡)



## 寄り道 グルメ

### 食文化 広喜

国道306号沿に店を構える、新鮮な魚介類がおいしいお店。寿司、刺身を中心にしたメニューはリーズナブルで、ランチタイムは開店前に人が並ぶほど。

- 営業時間：11:30～14:00 17:30～(22:00オーダーストップ)
- 定休日：日曜・祝日
- 電話：059-393-1011



すしランチ1,000円 (1日限定15食)

### 福ぱん工房 窯

焼きたてにこだわった40種あまりのパンは、どれも香ばしくおいしい。オーダー時にクリームを詰めるクリームパンやラウンド・シナモンが特に人気。

- 営業時間：9:00～19:00 ※売り切れ次第終了
- 定休日：月曜休
- 電話：059-394-1145



春風に乗って磯笛の音が聞こえてくる

# 浜島

2008年度  
春号

❖ ウォーキングコース全長 / 6.6 km  
❖ 所要時間 / 約2時間15分  
(施設観覧時間を除く)



「なごみの丘」に向かう途中の見晴らし台から

国道に戻り、ユニークな「伊勢えび大王」の像を右手に眺め進みます。トンネルの手前を左に進み再び海岸沿いを歩きます。「塩浜小公園」付近から坂の傾斜がきつくなる分、眺望は見えませんが増します。「磯笛岬展望台」まで来たら小休止。海女と漁師の悲恋物語が伝わる岬にある「ツバスの鐘」を鳴らせば願いが叶うといわれています。



## なごみの丘遊歩道 南張海浜公園

磯笛岬から先に進むと、右手に折れる「なごみの丘」に向かう遊歩道があります。かなり急な坂道コースなので健脚



の方にすすめます。途中の駐車場横に設けられた見晴らし台からも美しい景観を堪能できます。コースに戻り、曲がりくねった道の先に「南張海岸」が見えてきます。海岸に設けられた「南張海浜公園」はキャンプ場を備えた海水浴場。フェニックスが南国の風を運んできそうです。南張からは、鶴方方面にバスが出ています。途中、合歓の郷に寄り道して「潮騒の湯」を楽しむのもいいでしょう。



## 浜島港 宇気比神社

賢島港から定期船で35分。今回のコースは浜島の港からスタートです。右手に港を眺めながら堤防沿いを歩き、浜島診療所の手前を左折、木造2階建の集客交流拠点施設「わんさかわんさ」が現れます。この湯処「みたびの湯」(足湯)は無料で利用できます。漁師町の細い道を進み、国道260号を目指します。海岸の防波壁近くの「宇気比神社」の森は県天然記念物になっています。国道に出ると、陽光が降り注ぐ春の海に出会えます。町を守る堤防壁には、モザイクで魚を描いた「チップアート」が並び、目を楽ませてくれます。



志摩半島の南部に位置する伊勢エビと温泉の町で知られる志摩市浜島町。リアス式海岸と美しい砂浜に縁取られた海沿いの道を歩けば、潮騒と海鳥の音が心地良い。春風に磯笛の音を探しながら、歩いてみましょう。

## 浜島海浜公園 磯笛岬展望台

チップアートを鑑賞しながら進むと、目前に広がる砂浜が「浜島海浜公園」。この大きな浜は6月に開催される伊勢えび祭の会場になります。東方に矢取島の美しい姿も望めます。しばらく「日本の道百選」にも選ばれた国道260号「夢街道」と名づけられた景観の美しい道を進み、信号で左折。住宅街を抜け海岸沿いに敷かれた「ピン玉ロード」を進みます。ピン玉とは海に浮かぶブイのことで、日が暮れるとピン玉の中のローソクの灯りがロマンティックな雰囲気を演出してくれます。



**寄り道 温泉**  
奥志摩温泉 潮騒の湯  
(合歓の郷ホテル&リゾート内)  
医学的に療養泉と認められている天然温泉。泉質はナトリウム-塩化物温泉。眺望の素晴らしい露天風呂や大浴場で、心と身体をほぐしてみよう。  
●効能:神経痛、筋肉痛、関節痛、慢性消化器病ほか  
●料金:大人1,100円(タオル付)  
●営業時間:9:00~22:00  
●電話:0599-52-1111  
(合歓の郷ホテル&リゾート)



**寄り道 グルメ**  
磯料理 ヨット  
▲真珠貝柱チャーハン 1,100円  
志摩の海の幸が豊富に獲れる浜島町。ヨットでは、そんな新鮮な海の幸をおいしく食べられる。とくにアコヤ貝の貝柱を使った「真珠貝柱チャーハン」はおすすめ。  
●電話:0599-53-0486  
●営業時間:11:00~18:00  
(日・祝は17:00閉店)  
●火曜休



**甚よま餅店**  
もともとはお米の精米店から始められたという「甚よま餅店」。地元ではお祝い事で配られるという「へぎ餅」のサクサクとした食感が絶品。黒糖や塩味などバリエーションも豊富。  
●電話:0120-53-0728  
●営業時間:8:30~18:30  
●無休



**寄り道 JA 鳥羽志摩農協 浜島支店**  
■志摩市浜島町浜島1787-85  
■電話:0599-53-0004  
浜島支店が管轄する南張地区では、志摩特産の「南張メロン」を生産しています。ハウスで栽培される南張メロンは、ボイラーが必須。昨今の原油高騰により、農家は重油ボイラーから薪ボイラーに切り替えて生産コストを抑え、おいしいメロンを出荷しています。

軽便鉄道と昭和のまちに出逢う道

# いなべ市

2008年度  
夏号

◆ウォーキングコース全長 / 9.0 km  
◆所要時間 / 約3時間  
(施設観覧時間を除く)



めがね橋付近の小川



三重県最北部のいなべ市を縦断する三岐鉄道・北勢線は、軽便鉄道と呼ばれミニサイズの電車が走ります。「美しい日本の歩きたくなるみち 500選」に選ばれた、美しい田園風景が広がる線路沿いのコースを涼を求めて歩いてみましょう。

## 楚原(そはら)駅 麻生田(おうだ)駅

夏空を従える藤原岳を望みながら歩く今回のコースは、三岐鉄道・北勢線の楚原駅からスタート。駅前の楚原神社でゴールまでの安全を祈って歩き始めます。



楚原商店街を抜け、坂道を下る途中に水流豊かな「六把野井水(ろっぱのゆすい)」が見えたら、用水沿いに農道を進みます。木陰が涼しい小径の先、

大正5年に作られた「ねじり橋」をくぐり鉄道の反対側に出ます。ポイント毎にコース案内の看板が立てられているので道に迷いません。

緑が広がる田園風景の中に「めがね橋」を渡る黄色の電車を眺め歩きます。線路と六把野井水に沿って歩きつづ、井水の涼しげな流れを楽しみます。麻生田に入り萬笑院の杉並木の坂道を上り、線路を渡って茶畑の横を進むと麻生田駅です。



## 麻生田(おうだ)駅 阿下喜(あげき)駅

駅近くにある、人が通るだけのトンネル「洞門口」を抜け、坂道を下り県道609号に出て員弁川に向かいます。天王橋からは藤原岳が望めます。橋を渡つてすぐ



散歩道は初夏にオキケンイギクが咲き誇り、ウォーカーの憩いの場になっています。川沿いを進み、車道に出たら右折。員弁川橋を渡ると阿下喜駅です。

歩きます。この散歩道は初夏にオキケンイギクが咲き誇り、ウォーカーの憩いの場になっています。川沿いを進み、車道に出たら右折。員弁川橋を渡ると阿下喜駅です。



## 阿下喜駅周辺

駅前の本町通りのゆるやかな上り坂を進むと、左手には「旧阿下喜郵便局」。この町は古い建物が多く残っており、昭和の風情が漂います。相願寺の交差点を左折すると、右手に古い木造校舎「桐林館」。時間が過ぎ、次はまちかど博物館「プチ鉄道博物館」へ。鉄道ファンにはたまらない数々の展示物にあふれています。

「みなさんの元気」をテーマに健康増進施設として整備された「あじさいの里」。アルカリ性単純温泉のかけ流し内風呂・露天風呂をはじめ、足湯・トレーニングルームや喫茶・レストランなどを併設。

## 寄り道 温泉 あじさいの里

「みなさんの元気」をテーマに健康増進施設として整備された「あじさいの里」。アルカリ性単純温泉のかけ流し内風呂・露天風呂をはじめ、足湯・トレーニングルームや喫茶・レストランなどを併設。

- 効能:神経痛・筋肉痛・関節痛・慢性消化器病ほか
- 料金:小学生以上400円(足湯は無料)
- 営業時間:11:00~21:00
- 休業日:木曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
- 電話:0594-82-1126



## 丸喜製菓

北勢線の終点・阿下喜駅前に店を構える丸喜製菓。電車の姿を煎餅に焼き付けたオリジナル銘菓は、鉄道ファンや観光客に人気のさっくりとした煎餅です。

- 電話:0594-72-2162
- 営業時間:8:00~20:00
- 無休

## 寄り道 JA みえいなべ農業協同組合 阿下喜支店

いなべ市北勢町阿下喜1911  
電話0594-72-2008

阿下喜支店の敷地内にあるファーマーズマーケット「いなべっこ」で、周辺地域の200軒を超える農家が生産した農作物や加工品を販売しています。今夏はいなべ産の大麦で作った麦茶を販売します。またいなべ産大豆で作った納豆は好評につき増産していますので、ぜひお試しください。

## 寄り道 グルメ

## Fugetsu (フーゲツ)

▲おすすめスバゲティセット980円 (スバゲティは日替わり)

明るく広い店内が心地よいフーゲツは、その日の気分でランチをセレクト。ランチはボリューム満点で世代に関係なく人気が高い。

- 電話:0594-72-3568
- 営業時間:7:00~20:30
- 月曜定休



芭蕉のふるさとをそぞろ歩く道

# 伊賀市・上野城下町

2008年秋号

◆ウォーキングコース全長 / 6.0 km  
◆所要時間 / 約2時間  
(施設観覧時間を除く)



俳聖・松尾芭蕉や伊賀流忍者の里で知られる伊賀市。市街地の中心にそびえる伊賀上野城の周辺は城下町の風情が漂い、歴史ロマンにあふれます。秋の陽だまりの中、情緒漂う町並みを歩いてみましょう。

## 上野市駅 旧小田小学校

古い町並みが残る上野城下町を歩く今回のコースは、伊賀鉄道・上野市駅からのスタート。駅前ロータリーに建つ芭蕉翁の像を見上げながら旅の像を見上げながら旅気分歩き始めます。車の往来が多い国道25号を渡り、一路西へ。



江戸時代の藩校だった「旧崇徳堂」の赤門が見えてきたら左折、その先に建つ明治建築の旧上野警察庁舎「北泉邸」を右折し、細い路地に進みます。国道25号を渡り、下り坂を歩くと日本三大仇討のひとつ「鍵屋の辻」です。ここから

見えてきたら左折、その先に建つ明治建築の旧上野警察庁舎「北泉邸」を右折し、細い路地に進みます。国道25号を渡り、下り坂を歩くと日本三大仇討のひとつ「鍵屋の辻」です。ここから



は住宅を抜け田畑が広がる風景の奥に、竹林がそびえる坂道が現れます。「小六坂の竹林」を抜け、再び住宅街を歩きます。国道163号を渡ると、明治14年に創建された「旧小田小学校本館」はすぐ目の前。現存する小学校校舎では県内最古です。



伊賀上野城から伊賀市を望む

## 上野高校明治校舎 だんじり会館

上野公園の堀沿いの道を進み、白壁の美しい通りを過ぎると国道25号に戻ります。ここを左折、「上野高校明治校舎」を左手に眺め、白鳳門で左折。上野公園に入ります。



美しい石畳の道を上ると、左手に「伊賀上野城」の天守閣が見えてきます。

## 芭蕉翁生家 茅町駅

だんじり会館の裏手の細い道を回りこんで進み、町家が多く残る通りを歩きます。国道25号に面した角地に建つ「芭蕉翁生家」は、当時の面影そのままに保存されています。



町家の路地を進み、次の交差点で右折。小さな広小路駅を右手に過ぎると正面に杜、芭蕉が処女句集「貝おほい」を奉納した「上野天神宮(菅原神社)」です。道を少し戻り、最初の辻を右折。寺院が集まった「寺町茅町駅」を進みます。

藤堂高虎がこの地に築城し、現在の天守閣は昭和10年に復元されました。公園内には「排聖殿」や高さ30mの石垣など見どころも多いので、散策してみましよう。



公園を東側から出ると、上野天神祭の「だんじり会館」の正面に。

## 鎌田製菓店



忍者の携帯食といわれる「かた焼」の製造風景を見ることが出来る。山イモ入り・生姜砂糖味はいつでも人気が高い。



▲かた焼 各420円

●電話:0595-21-1345  
●営業時間:8:00~17:00  
●不定休

## 寄り道 グルメ



▲ランチセット1,800円 (前菜+肉または魚+ドルチェ+ドリンク)

## イタリア料理 「チッタ」



●電話:0595-22-8320  
●営業時間:11:30~22:00 (ランチカフェテイクアウトあり)  
●火曜定休 (祝日の場合は翌日)

明治末期に建てられた町屋を改装した味わい深い店内。イタリア・シエナで修業を積んだシェフが作る本格的なイタリア料理をくつろいで味わえる。

## 寄り道 JA 伊賀北部 農業協同組合 営農生活センター

■伊賀市木興町530  
■電話0595-21-3500

伊賀市は四方を山に囲まれた盆地で、良質の米を産出することで有名です。JAいがほくぶ伊賀米センターでは、味・香り・粘りの三拍子揃った安全・安心のおいしいお米、伊賀産コシヒカリを販売、好評をいただいております。



## 寄り道 温泉

## ウェルサンピア伊賀 「芭蕉の湯」



天然温泉「芭蕉の湯」は、和洋ふたつの露天風呂、寝湯やジャグジーを始め、湯上りタイムを快適に過ごせる設備を併設。食事も充実しているので、ウォーキング後のリラックスタイムには最適。

●効能:神経痛・筋肉痛・疲労回復・健康増進ほか  
●料金:大人750円  
●営業時間:10:00~21:00  
●電話:0595-24-7000

## お得情報!

ウェルサンピア伊賀は当健保組合の契約保養所です。被保険者・被扶養者が宿泊した際に1人3,000円の利用助成を行っています。詳しくは健保組合にお問合せください。



神宮の杜と  
伊勢商人の歴史に触れる道

# 伊勢市外宮〜河崎

2008  
冬号

❖ ウォーキングコース全長 / 8.5 km  
❖ 所要時間 / 約2時間30分  
(施設観覧時間を除く)

## 伊勢市駅〜河崎

約千五百年の歴史を持つ外宮参拝客で賑わう伊勢市駅前。厳かな雰囲気的神宮、かつて問屋街として発展した河崎。江戸時代に「おかげ参り」で独自の歴史文化を  
発展させてきた伊勢の町並みを散策してみましょう。



今回は式年遷宮で賑わう伊勢市街を歩くコース。「伊勢市駅」のJR側の真正面に鎮座する「伊勢神宮外宮」の境内を目指します。豊受大御神が祀られた外宮の清浄な境内を散策したら北御門側に抜け、

県道22号を渡って世古と呼ばれる細い路地へ。神宮のお札に用いる和紙を納める大豊和紙工業の一角にある「伊勢和紙館」に寄って伊勢の地場産業に触れてみましょう。広い道に出たら右折。外宮の別宮・月夜見宮を回り込み、歩道橋を渡ります。JRと近鉄の踏切も越え直進、宮後郵便局を過ぎたら路地を右折。車が少ない住宅街を歩き、河崎へ向います。



河崎の町並み

## 河崎〜御幸道路

通称・八間道路と呼ばれる広い車道を渡ると、かつての商人の蔵がところどころに現れてきます。細い路地の先、丁字交差点を左折すると、江戸時代に建った蔵が今も残る河崎の古い町並みです。古民家や蔵を改装し



伊勢河崎商人館

たお店も多く楽しみながら歩けます。300メートルほど進むとひとときわ目を引くのが「伊勢河崎商人館」。江戸の商家を代表する建物は国の有形文化財指定。すぐ隣の「河崎・川の駅」を通り抜け勢田川沿い

の遊歩道を先ほどと反対方向に歩きます。勢田川沿いを歩き、清浄坊橋を渡り、反対岸の道へ。車の往来が多い通り「御幸道路」に出たら左折です。



川の駅



勢田川沿いの遊歩道

の遊歩道を先ほどと反対方向に歩きます。勢田川沿いを歩き、清浄坊橋を渡り、反対岸の道へ。車の往来が多い通り「御幸道路」に出たら左折です。

## 御幸道路〜宇治山田駅



御幸道路

伊勢神宮の内宮と外宮を結ぶ御幸道路は、石灯ろうが立ち並び美しい道。ゆるい上り坂を進み大鳥居の手前の信号を右に入ると神宮に関する資料が展示された「神宮徴古館」。隣接する神宮農業館・神宮美術館とともに巡るのもいいでしょう。道を戻り、大鳥居の脇に延びる道を歩き古市に進みます。江戸の頃は芝居小屋や旅館が軒を並べ賑わった町も、現在は静かな住宅街です。郵便局のある辻を右折。今度は坂を下ります。勢田川に架かる「小田橋」を越えればゴールの宇治山田駅はすぐ近くです。



神宮徴古館



小田橋

の遊歩道を先ほどと反対方向に歩きます。勢田川沿いを歩き、清浄坊橋を渡り、反対岸の道へ。車の往来が多い通り「御幸道路」に出たら左折です。



## 寄り道 JA 伊勢農業協同組合 伊勢支店

■ 伊勢市楠部町Z581-1  
■ 電話 0596-22-3377



支店管内の特産品「あさま小葉」は、伊勢市朝熊山麓に広がる畑で無農薬で栽培、12月から3月頃に収穫します。シャキシャキとした歯ざわりと独特の風味が人気で、主に市内のスーパーで販売、消費者に大変喜ばれています。

## 寄り道 湯 汐湯・おかげ風呂館 旭湯



明治時代の二見海水温浴にヒントを得て生まれた旭湯の「汐湯」。店主の酒徳さんが二見浦に毎朝夕かけ、汲んだ海水で湯を沸かしている。浴室に設置された切花が生き活きるほどに、心身共にリフレッシュできる湯をお試しあれ。

● 料金: 大人380円  
● 営業時間: 12:00~0:30  
● 電話: 0596-25-1126  
勢田川 清浄坊橋前



## 寄り道 グルメ 町屋ダイニング 河崎2丁目食堂

民家を改装し、伊勢河崎の街並に溶け込むたたずまい。和洋中にこだわらない無国籍料理は、こだわりの米油を使用。カップルや家族連れに人気が高い。



● 電話: 0596-26-2239  
● 営業時間: 11:30~14:00 17:30~22:30  
● 月曜定休

## 菓匠 はりた や 播田屋

室町時代以降、輸入生糸に添付されていた銅印・糸印の文様を活かした糸印煎餅。明治38年に天皇陛下が神宮にご参拝されたのを記念して創作、伊勢銘菓として現在も愛されている。

● 電話: 0596-28-2207  
● 営業時間: 8:00~20:00  
● 毎月最終日曜休



おかげ参りで賑わった道

# 伊勢街道

津市

ウォーキングコース全長 / 5.5 km  
所要時間 / 約1時間45分 (施設観覧時間を除く)

2009年度  
春号

## 高田本山駅〜江戸橋

別名・参宮街道の「伊勢街道」は、四日市で東海道と分かれ鈴鹿、津、松阪を通り伊勢神宮へ至る約76kmの街道です。今回はその中でも、歴史を感じさせる町並と近代的な町並が同居する県都・津の街道をゆったり歩いてみましょう。

今回のスタートは、近鉄「高田本山駅」からです。西へ向かえば境内が国指定史跡になっている高田本山専修寺へ。コースは反対方向の東へ歩き、国道23号を目指します。



巡礼道との追分。目印の松を通り過ぎ進みます。静かな街道を進み、三重大学正門付近から賑やかな国道23号に合流。大きな歩道橋を渡ると志登茂川にかかる



栗真町屋町



「江戸橋」。この橋は津藩主が参勤交代で江戸へ行く時に、ここまで見送ったことから名づけられたもの。時代が過ぎても風情を残す橋で、映画ロケにも使われました。



栗真町屋町

## 常夜燈〜四天王寺



橋を渡ると伊勢街道と伊勢別街道の合流点に市指定の「常夜燈」が。常夜燈は街道を通る人々の安全のために一晩中明かりを灯しておくものでした。ここを左折し、上浜町の街道を進みます。津駅周辺の区画整理もあって、町屋の名残を残す建物は年々減り続けています。津駅を右手に眺め、商店が連なる街道を進みます。商業エリアから官公庁エリアに入り県庁の近くをさらに南に進むと、聖徳太子ゆかりの「四天王寺」の山門が右手に見えます。平安期の重要文化財・薬師如来坐像があり、江戸時代から街道沿いの名刹として栄えました。



上浜町

## 塔世橋〜観音寺



塔世橋

街道は津市内を横断する安濃川を渡る「塔世橋」へ。安濃川はかつて塔世川と呼ばれ、江戸時代は軍事目的で橋はかけられていませんでした。幕末までは土橋で、河原へ下りて渡ったそうです。橋の欄干には県指定無形民俗文化財の「唐人踊り」のレリーフも。街道は国道と再び合流し、現在は6車線の大きな車道になっています。緩やかな下り坂を進み、歩道橋のすぐ下を左折。街道は住宅街に入ります。国道と並行し、大門立町のアーケードが見えたら左折。立町の名は、観音寺門前の町筋と直交した町筋であったことからつけられました。200mほど商店街を進むと道標があり、右折すれば伊勢街道に続き、左折すると今回のゴールの「観音寺」へ。日本三大観音のひとつで、今年は何年行事も開催されます。



観音寺



## 寄り道グルメ

T<sup>2</sup>の菓子工房 北丸の内店 地図: (a)



りんごのチョコレート 1,050円

蜂蜜にじっくりと漬け込まれたりんごに、まろやかなミルクチョコレートをかけて作られている「T<sup>2</sup>のアップルチョコレート」。シナモン味とコーヒー味が楽しめる、ギフトにも喜ばれるお菓子です。

- 電話: 059-226-1771
- 営業時間: 9:00~19:00
- 不定休

うなぎ料理 はし家 地図: (b)



津といえばうなぎ。その中でも津を代表する「はし家」のうなぎは、備長炭で焼かれた関西風の仕上げでファンも多い。伝統のタレと香ばしさをお試しあれ。

特上うなぎ丼 1,575円

- 電話: 059-228-4925
- 営業時間: 11:00~20:30 (14:30~16:30は準備中)
- 月曜休

世界遺産の  
熊野古道を歩く

# 熊野街道

2009年度  
夏号

熊野市

ウォーキングコース全長 / 7.0 km  
所要時間 / 約2時間45分(施設観覧時間を除く)



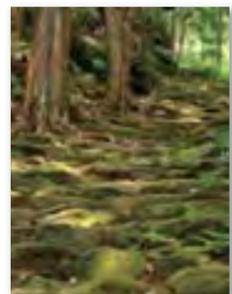
松本峠の道標

世界遺産に登録された熊野古道は「熊野街道」とも呼ばれ、三重・和歌山・奈良の三県にまたがるいくつかのルートがあります。今回は、雄大な七里御浜を望める松本峠越えのコースを歩いてみましょう。



松本峠のお地藏さん。やさしいまなざしで道行く人を見守っている。

## 大泊駅〜松本峠〜笛吹橋



今回のスタートはJR紀勢線「大泊駅」から。小高い丘にある駅舎から道沿いに下り、国道311号に出たら右折。河口に架かる橋を渡り、国道42号に出たら横断歩道を渡って山側の歩道を歩きます。大泊海水浴場を左手に見下ろしながら進むと、松本峠の登山口が出てきます。整備



東屋から望む七里御浜

された石畳を上っていくと、時代をさかのぼるように、少しずつ昔むした古い石畳の階段に変化していきます。20分ほど上るとお地藏さんが祀られた峠に。ここから南に鬼ヶ城へ向かうコースがあり、400mほど先の東屋からは、美しい七里御浜と熊野灘を望むことができます。潮風と雄大な大自然を満喫したら峠までもどり、反対側の木本方面へ。静かな竹林のなかの石畳を歩くと神聖な気持ちに。そのまま曲がりがねった道を下り、笛吹橋の登山口に下ります。

## 熊野市街〜花の窟神社



ここからしばらくは国道と並行する県道204号を歩きます。市街地を過ぎ「熊野市駅」の交差点に出たら再び国道42号へ。すぐ目の前に浜の堤防が続き、波の音が聞こえます。

## 歴史民俗資料館〜有井駅

神社前の道を右手に入り、L字に曲がった道を歩き住宅街を進みます。500mほど行くと蔵の外観を模した「熊野市歴史民俗資料館」が。ここは古代遺跡の出土品や農山漁村に関する



歴史民俗資料館

民俗資料が収められており、無料で見学できます。資料館前の信号を渡り、次の角を右折。150mほど直進すると今回の終点、JR「有井駅」に到着です。



400mほど進んだら堤防から七里御浜へ下り、しばらく丸い石の浜を歩きましょう。このあたりは別名「浜街道」とも呼ばれています。かつては峠越えをしてきた旅人たちの心を癒したことで、獅子岩がほえる姿に見える「獅子岩」の前を過ぎ、



獅子岩

国道のルートへ。浜をそのまま進んで、花の窟神社付近からコースに戻ることができます。高さ45mの岩そのものが



花の窟神社

御神体で、日本最古の神社と言われる花の窟神社でウォーキングの安全を祈願して。

## 寄り道グルメ

割烹  
やまぐち

めはり定食 1,000円  
※めはりには熊野地方の郷土料理。目を見張るほど大きくて美味しいことからこの名がついた。

地元食材を使った料理や郷土料理がおいしい。熊野特産の高菜の漬物を使った『めはり寿司』は程よい塩加減で、ウォーキングの後に、ぜひいただきたい。

- 電話 / 0597-89-5256
- 営業時間 / 11:30~13:30、16:30~21:00
- 日曜休



菓子匠  
うぶた堂

子儀 1袋315円

国内産小麦粉や和三盆糖、バニラビーンズなど、吟味された材料で作られた『子儀』は、口の中でふんわり溶ける舌触りと上品な甘みがたまらない一口サイズのカステラです。

- 電話 / 0597-89-3168
- 営業時間 / 8:30~19:00
- 第3水曜休



江戸時代に  
大和と伊勢を  
結んだ道

# 射和と伊勢本街道

2009年度  
秋号



榊田川



松阪市  
多気町

ウォーキングコース全長／8.8km  
所要時間／約3時間(施設観覧時間を除く)

松阪商人発祥の地・射和から、  
榊田川をはさんで続く「伊勢本街道」は  
街道遺産が残された歴史あるコースです。  
今回は、江戸時代に多数の参拝客が往来した  
街道を歩いてみましょう。

## 相可駅と千鳥橋



札の辻

スタートはJR紀勢本線「相可駅」から。駅前から西に向  
かい旧42号を右折。榊田川にかかる両郡橋を渡ると射和地  
区に入り、東側には黒い塀が続く、かつての豪商の屋敷が点  
在します。伊勢本街道を歩く前に射和地区をぐるりと散  
策して、再び両郡橋を渡ったら右折。ここから県道421  
号、かつての伊勢本街道に  
入ります。100mほど  
進むと「伊勢本街道 す  
ぐならはせ道 右くまの  
みち」と刻まれた道標が

立つ「札の辻」があり、熊野街道との辻であったことが偲ば  
れます。すぐ先の相可高校の前、千鳥橋のそばの樟の大樹  
のもとに立つのは「西行歌碑」。  
平安時代に西行法師が伊勢  
参りの途中、この地で詠んだ  
歌が刻まれています。



西行歌碑

## 大常夜灯とイボ地蔵



大常夜灯

西に向かい街道沿いの住宅街を進むと、田畑が広がる景色  
に変わってきます。四疋田には高さ5.5mの大常夜灯があり、こ



歯やめ地蔵

の街道では最大級の高さです。さ  
らに田園風景のなかを進むと「歯  
やめ地蔵」が鎮座する小さな祠が。  
昔から歯痛を治すといわれていま  
す。300mほど進み小さな辻を  
左折し、畑のなかに続く細い道を  
進むと、一本松を背に佇む「イボ地  
蔵」が。イボ落としてご利益がある

と伝えられています。道な  
りに進み、井内林バス停の  
横から県道に戻ります。  
このあたりから少しずつ住  
宅も少なくなり、右側に  
流れる榊田川と並行して  
歩きます。



イボ地蔵

## 仏足石碑と下茅原停



仏足石碑

にわらじを奉納し、旅の安全を祈願しました。ゆるい上り  
坂を進み風景が開けてきたあたりで、伊勢自動車道をく  
ぐり、県道から右にされる道を進みます。田舎の景色を  
堪能して歩くと街道は再び集  
落のなかへ。津留地区に入り、な  
だらかな下り坂の手前で再び  
県道と合流。橋のふもとに「津  
留の渡し跡」があり、今も川の



はかり岩

水位を測る  
「はかり岩」  
が残っていま  
す。榊田川  
を渡れば松  
阪市に入り

ます。緩いカーブを右に曲がると  
今回のゴール「下茅原」バス停に  
到着です。



## 寄り道グルメ



手づくりソーセージハウス  
やまちゃんち

ソーセージランチ  
980円

天然塩で豚肉の旨みを出したソーセージは  
販売もされているので、お土産にも最適。人気  
のソーセージランチはボリューム満点で、ソー  
セージを楽しく焼きながらいただける。

- 電話／0598-38-3438
- 営業時間／10:00～22:00(ランチタイム11:00～14:00)
- 月曜休

長新

まつかさ餅  
1個100円



地元産の米と沖縄県産の黒砂糖を使用。蒸しまんじゅうに  
のせられた米粒をまつかさに見立てたまんじゅうを江戸時代か  
ら作り続けている老舗です。素朴な風味がたまりません。

- 電話／0598-38-2018
- 営業時間／8:30～(売り切れ次第)
- 不定休

江戸時代の宿場跡を訪ね歩く道



福蔵寺

2009年度 冬号

# 東海道 関宿〜坂下宿

亀山市

ウォーキングコース全長／8.3km  
所要時間／約2時間30分(施設観覧時間を除く)

かつての東海道47番目の宿場「関宿」は、1.8kmにわたり国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された町。鈴鹿峠の麓に位置する48番目の「坂下宿」まで江戸時代の名残を楽しめます。今回は、昔の旅人になった気分分で街道を歩いてみましょう。

JR関駅〜福蔵寺

JR関駅をスタートし、国道1号を渡ったら右折。東に向かい次の信号を左折、坂の上に建つ大きな鳥居が伊勢別街道との分岐点「東の追分」の目印です。左折すると、砂色に舗装された道が続く旧東海道へ。古い



関まちなみ資料館

歴史的な町並みが再現された関宿へ入ります。宿役人が大名行列を出迎えた「御馳走場跡」、宿場時代の資料や展示物が揃う「関まちなみ資料館」、旅籠で使われていた道具や美術品を展示する「旅籠玉屋」と民家の



合間に指定文化財や観光施設が並びます。街道沿いにある郵便局も土蔵造りで、街並が整然として美しい景観です。福蔵寺は織田信長の三男・信孝の菩提寺で位牌が祀られています。



旅籠玉屋



東の追分

## 地藏院〜一里塚跡



地藏院

関の中心的寺院、一休さんにもゆかりのある「地藏院」を過ぎ、関の街道を西に進むと大和街道との分岐点「西の追分」です。ここから少し国道



西の追分

## 沓掛地区〜伊勢坂下停

自動車の往来が激しかった国道からそれ、静かな旧道を川に沿って進みます。道沿いに立ち並ぶ古い民家から街道の雰囲気を感じられます。1.5kmほど歩くと木造校舎を利用した「鈴鹿馬子唄会館」と、ドーム型の「鈴鹿馬子唄会館」の間の道に東海道の宿場を刻んだ



鈴鹿馬子唄会館



柱が並びます。鈴鹿峠が近いことを実感し、800mほど進むと集落が現れ「坂下宿」に入ります。かつての本陣跡は畑や茶畑になり、



常夜燈

1号に沿って右側の歩道を歩きます。1kmほど進み市ノ瀬で旧道に入り、常夜燈を右手に道は続きます。国道と合流したり離れたりしながら、徐々に上り坂がきつくなってきたあたり、道路の反対側に「一里塚跡が見えたら、すぐ先の東海道の看板の辻を右折。ここから「坂下宿」に向かいます。



岩屋観音

今は碑が立っています。本陣松屋の玄関を移築した「法安寺」の庫裡の玄関や、家康や家光が小休止した「金蔵院の石垣」だけが往時を偲ばせます。坂下宿のはずれ「岩屋観音」は旅人の道中の安全を祈り造立されたもので、堂の横にある滝とあわせて清滝観音と



法安寺

して親しまれています。コースはここでUターンし、坂下集落にある「伊勢坂下」バス停でゴールです。

もへい 萌へ井  
蕎麦・天麩羅処  
Bランチ 1,890円▶  
敷地内に湧く井戸水を使い、店に出す分を毎朝手打される十割蕎麦が人気。蔵のある古民家を改装した店内も趣があり、落ち着いた気分で食事したい方におすすめです。



●電話／0595-96-3233  
●営業時間／11:30~14:00、17:00~21:00(蕎麦がなくなり次第閉店)  
●火曜休(祝日の場合は営業)

ふかわや むつだいじょう 深川屋 陸奥大掾



寛永年間から続き、御所御用達の歴史を持つ老舗。銘菓「関の戸」は、赤小豆のこしあんを求肥で包み、和三盆をまぶした味わい深い餅菓子です。



▲関の戸 1箱15個入り 850円  
●電話／0595-96-0008  
●営業時間／9:00~18:00頃(売り切れ次第終了)  
●木曜定休

# 伊勢別街道「椋本」↓「楠原宿周辺」

# 東海道と伊勢をつなぐ 古い歴史と自然を訪ね歩く道

かつて、いせみち・参宮道・山田道などと呼ばれた伊勢別街道は、いくつかの宿場町を持ち、江戸時代には京都周辺からの参宮客で賑わいました。椋本から楠原の集落には昔の旅宿や問屋の面影を残す建物があったり、目を見張る巨木に出会ったり…。春のウォーキングが楽しめる街道です。



津市・亀山市

ウォーキングコース全長/8.9km  
所要時間/約2時間45分  
(施設観覧時間を除く)



街道の名残を残す石灯ろう



角屋旅館



鈴鹿駅家跡



大椋周辺の景色



楠原に向かう街道に残る蔵や古い家並



仁王経碑



延命地藏堂



芸濃町資料館

蔵の家並

石灯ろう

東日寺

角屋旅館

栄昇軒

お菓子豆腐 (梅・ごま) 各158円

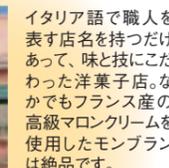
電話/059-265-2141  
営業時間/9:00~20:00  
火曜定休

## 洋菓子工房 アルティジャーノ



モンブランとミスタ 各390円▶  
●電話/059-265-2360  
●営業時間/10:00~19:30 (日祝は18:30)  
●木曜定休

## グァルメ



イタリア語で職人を表す店名を持つだけあって、味と技にこだわった洋菓子店。なかでもフランス産の高級マロンクリームを使用したモンブランは絶品です。

「JR関駅」でゴールです。  
県道10号沿いに山道を少し歩きます。一度10号に出て川を渡ったら左折。楠原の集落に入ります。狭い道ですが両側には古い家並みが続き、街道の面影を感じます。集落を抜け、再び10号を進みます。「庚申塚」と地蔵が迎えてくれます。関ドライブインの横を進み、高架下の道を車道からそれて下ります。曲がりくねった道を進むと坂の下に「鈴鹿駅家跡」が。かつての旅人はここで休憩をとったのだとか。ここからは10号と合流し、国道1号を目指します。鈴鹿川を渡り国道1号に出て左折すれば、

## 楠原宿 ↓ JR関駅

街道からそれ、坂道を下り天然記念物の「大椋」(表紙写真)を眺めます。樹高18m、周囲8mで樹齢は1500年以上と伝われます。周囲は開けた田園風景で素晴らしい景観です。巨木をくぐりぬけ、街道に戻り住宅街を進むと、右手に「東日寺」。室町時代の涅槃像があります。さらに進むと大きな堤防が続く道に変わります。昭和9年建立の駒越翁彰功碑と「下の仁王経碑」を左手に横山池堤を回り込み、北に向かいます。再び県道10号に出たら渡り、楠原宿へ。交差点に建つ「石燈ろう」は道標と常夜燈を兼ねたもの。ここから先は蔵や板塀が残る屋敷が多く残っています。ゆるい上り坂を進むと、小さな交差点の角に「芸濃町資料館」が。今は新しい資料館に機能を移し、静かにたたずんでいます。

## 大椋 ↓ 芸濃町資料館

街道からそれ、坂道を下り天然記念物の「大椋」(表紙写真)を眺めます。樹高18m、周囲8mで樹齢は1500年以上と伝われます。周囲は開けた田園風景で素晴らしい景観です。巨木をくぐりぬけ、街道に戻り住宅街を進むと、右手に「東日寺」。室町時代の涅槃像があります。さらに進むと大きな堤防が続く道に変わります。昭和9年建立の駒越翁彰功碑と「下の仁王経碑」を左手に横山池堤を回り込み、北に向かいます。再び県道10号に出たら渡り、楠原宿へ。交差点に建つ「石燈ろう」は道標と常夜燈を兼ねたもの。ここから先は蔵や板塀が残る屋敷が多く残っています。ゆるい上り坂を進むと、小さな交差点の角に「芸濃町資料館」が。今は新しい資料館に機能を移し、静かにたたずんでいます。

## 豊久野停 ↓ 街道道標

芸濃IC近くのバス停・豊久野をスタートし、県道10号を西に向かいます。500mほどでY字に出たら左へ。本線を外れ静かな住宅街を歩きます。「上の仁王経碑」が見えたら、その先の「延命地藏堂」へ。1715年建立で石地蔵が祀られています。さらに進むと道ががき型に折れ、その角に立つ「角屋旅館」は江戸時代から続く老舗。ひなびた風情を楽しみ進むとT字路に。この角に建つ「道標」は「左さんくう道」と彫られた江戸後期のもの。木製標柱は、明治時代にこの地に建てられ、現在の標柱は二代目です。

磯部道【恵利原 ↓ 上之郷周辺】

# 伊勢の国と志摩の国をつなぐ 神代の伝説が伝わる神秘の道

かつて伊勢神宮を参拝したのち、伊雑宮へ参る人々が歩いた磯部道。志摩の人々が生活道路として使っていました。昭和40年にバスが通る伊勢道路として改修されました。今回は志摩路トンネルから南の磯部町を中心に歩いてみましょう。涼やかな水辺のコースが夏に最適です。

2010年度  
夏号

志摩市磯部町  
ウォーキングコース全長／9.1km  
所要時間／約2時間50分  
(施設観覧時間を除く)



天の岩戸から流れる溪流



神路ダム湖



獅子岩



伊雑宮



恵利原の町並み



磯部ふれあい公園



恵利原の町並み



池深寺近くの美しい池



石垣が組まれた田



天の岩戸

天の岩戸口停 ↓ 神路ダム

伊勢方面から志摩路トンネルを抜けたすぐ近くのバス停天の岩戸口停からスタートします。伊勢道路の脇道に入り神路ダムの上流沿いの小道を進むと、少しずつ山深くなり、溪流が細くなったところに「天の岩戸」があります。天照大神が隠れた伝説にちなんだ洞穴からは清水が流れ出し、日本名水百選にも選ばれています。

のどを潤したら、もとのコースにもどり伊勢道路へ出ます。この道は自動車の往来が激しいので、ウォーキングには十分注意を払ってください。清らかな水を満々とたたえる神路ダム湖を右手に眺めながら歩いていくと、湖の対岸に獅子岩が横たわったように見える「獅子岩」が見えてきます。

恵利原の町並み ↓ 池深寺

かつての磯部道はダム湖の中に沈んでいるので、並走する伊勢道路を進みます。道路はゆつくりと下りながら続く坂道で、道沿いには小さな集落と里山が点在するのどかな風景です。坂の途中、左手には石垣が組まれた田が見え、緑の美しい景観を楽しめます。徐々に住宅が増え、道路が平坦になってくるあたり、「おうむ岩」の看板が見える三差路を左折。昔からある細い生活道路の坂道を少し上ると、その先に「池深寺」。寺と道を挟んで水生植物が茂る美しい池があります。この辺りは高台になっているので、振り返ると恵利原の田園風景が広がります。少し戻り、伊勢道路の手前を走る道を進むと、印象的な石垣が組まれた路地や黒

い蔵が独特の雰囲気をもっています。静かな住宅街を歩き、大きな道に出たら左折し、ゆるやかに上ります。

磯部ふれあい公園 ↓ 上之郷駅

坂を上りきると広い敷地をもつ「磯部ふれあい公園」が見えます。公園を回り込むように進み、森を抜け住宅街のなかを進めば「伊雑宮」が現れます。祭神は天照坐皇（あまのまゐらすみかみ）大御神御魂で、内宮から遠く離れた地で天照大神を祀ることから、天照大神の遙宮と呼ばれるれています。ウォーキングの無事に感謝し、お祈りしたら終点の「近鉄上之郷駅」まではもうすぐです。



お魚直売・お食事処  
末広水産

まぐろのかぶと煮で知られ、レストランを併設した広い店内には、お値段打ちな海鮮物がズラリと並びます。地元産のあわびを使ったあわびせんべいはお土産に最適。



▲あわびせんべい 945円

●電話 / 0599-55-4000  
●営業時間 / 8:00~17:00  
●無休



▲刺身定食850円

▼ミックスフライ定食 850円



まんぶく食堂 板橋  
店名が示す通り、ごはんもおかずもボリューム満点のメニューがずらりと並びます。魚は地元で採れるものを使っているので新鮮でおいしい。



●電話 / 0599-55-1047  
●営業時間 / 7:00~19:00  
●火曜・第2水曜定休

# 伊勢本街道「田丸⇩東池上」

やまと ひめの みこと

## 倭姫命が伊勢に向かったと伝わる 奈良と伊勢をつなぐ自然豊かな道

別名「初瀬街道」とも呼ばれる伊勢本街道。険しい山道が多く、かつては難所の多い街道でした。今回は、伊勢に近い多気町田丸から西に向かってJRでふた駅先の多気駅までを歩くコースです。

2010年度  
秋号

玉城町～多気町  
ウォーキングコース全長／8.7km  
所要時間／約2時間40分  
(施設観覧時間を除く)



### JR田丸駅⇩田丸城址

映画のロケにも使用された趣のある「田丸駅」からスタート。駅前のロータリーには街道が交わる田丸にちなんで、昔の旅人の像が設置されています。そのまま進み、カギ型に曲がって銀行を右に見ながら進むと、熊野街道、別名紀州街道と参宮道の分岐碑が。さらに直進し、外堀にかかる大手門橋を渡ると「田丸城址」の石垣が見えてきます。左手は役場、右手は朝日新聞の創始者「村山龍平記念館」が静かに佇んでいます。城址進むには右回りに坂道を上り、中学校を目指します。学校正門横から石垣に沿って天守台に。ここからは玉城町を一望でき開放感いっぱいです。また城址の周囲をぐるりと囲む遊歩道も静かで気持ちよく歩けます。

### 田丸神社⇩田辺地区

城址を下り北側へ向かうと大きな社を持つ「田丸神社」の鳥居があるので、そこを右折。神社を回り込むように進み、グラウンドを左に見ながら道なりに歩きます。「右松阪道 左はせ道」の新しい道標を確認したら、そのまま住宅街の中を進みます。このあたりは生活道路になつていて街道らしさが残念。少しずつ民家が減り、左手に広い田園風景が広がります。右手には正念僧の「人柱供養塚碑」が。その昔この地で病にかかった老僧が、旅人の安全を祈願して人柱に立ったといわれています。JR参宮線沿いにさらに西に向かい、榛原神社の森を回り込み、山に近づいていきます。

### 土羽地区⇩JR多気駅

集落から離れ農道のような街道を進むと、未舗装の道に変わります。周囲は雑木林に変わり、道は上り坂になり自然歩道を進む気分です。木々に囲まれているので、周囲の風景があまり楽しめませんが、野鳥のさえずりを聞いたり、道端の植物を観察して楽しみましょう。ポイントには街道案内の道標が立てられているので安心です。やがて舗装道に変わりさらに進むと工業団地が現れ、その敷地に沿って進む進路となります。人家が徐々に増えてきたら東池上地区。赤い板倉を左手に見ながら坂を下り、JR参宮線の踏切を渡ります。ここから多気駅までは見晴らしのよいまっすぐな道です。紀勢本線との分岐駅・多気駅がゴールです。



**野中屋**  
創業100年を超える老舗の和菓子処。人気の玉城最中は、あっさりとした小豆が味わい深い。餡は、あずき、しろ、青のりの3種類から選べる。  
●電話／0596-58-3079  
●営業時間／8:30～19:00 (日曜は12:00まで)



**ミエマン醤油 西村商店**  
300有余年の歴史と伝統の味を守るミエマン醤油。新発売の的矢かきのうま醤油とこだわりの三重県産原料を使用した伊勢うどんはお土産にも最適。WEBからも買い物できる。ミエマン醤油 検索  
◀的矢かきのうま醤油 (360ml) 525円 ●電話／0596-58-2225  
伊勢古里屋の伊勢うどん (2人前) 577円 ●営業時間／9:00～17:00  
●日曜・祝日定休、土曜不定休

東海道「日永 ↓ 采女」

東海道と伊勢街道の  
分岐点・日永を越え  
歴史の道、杖衝坂を歩く道

東海道の宿場、四日市宿と庄野宿の間にあり、旅籠や茶店で賑わった日永の宿。  
伊勢街道との分岐点・追分から、ヤマトタケルの故事が伝わる坂道を歩くコースです。



四日市市

ウォーキングコース全長 7.5km  
所要時間 約2時間20分  
(施設観覧時間を除く)



血塚社のとなりには古い蔵が建つ



杖衝坂



豊富稲荷神社



観音寺



鈴鹿市考古博物館



杖衝坂碑



大蓮寺



小古曾の町並み



内部川



日永の追分

泊駅 ↓ 日永の追分

今回は、狭軌鉄道で有名な近鉄内部線・泊駅がスタートです。駅を出たら東に進み、国道1号に沿って走る旧東海道へ。住宅街に変わった旧東海道を進み、国道に合流した先にある「日永の追分」は、かつて京へ向かう旅人と伊勢へ向かう旅人が分かれた分岐点。現在は車道に囲まれています。昔をしのぶ鳥居や常夜燈が静かに佇んでいます。ここから国道を少し進み、三差路で再び旧道に入ります。

小古曾 ↓ 内部川

小古曾の旧東海道沿いも現在は住宅が立ち並び、静かな通りです。ところどころ昔の町並みを思わせる格子窓の町屋があったり、寺院が多いことがかつての名残をしのばせます。カギ型に曲がった道を進み、内部川の近くで県道に出たらそのまま直進します。国道に沿って進み、内部川の堤防に出たら左折、国道の下をくぐって反対側にまわり橋を渡ります。この周辺は交通量が多いので、必ず歩道を進んでください。

采女 ↓ 杖衝坂

国道沿いに少し進み、和菓子屋・菊屋本店の信号を左折し、旧道に戻ります。古い住宅と新しい住宅が混在する細い街道を進むと、杖衝坂の案内看板が出てくるので、案内に沿って進みます。徐々に登り坂にさしかかり、坂の勾配が急になりS字に曲がったところが杖衝坂です。神話の時代、ヤマトタケルが東征の帰途、弱った体で大和を目指し、剣を杖代わりにしてこの急坂を登り、「私の足が三重に折れ曲がってしまったように、ひどく疲れた」と言ったことが、県名

「三重」の語源にもなると伝わっています。また、松尾芭蕉もこの地で俳句を詠んだことから句碑も建てられています。

血塚社 ↓ 国分バス停

坂を登りきると、すぐ先にある血塚社。ここはヤマトタケルが血を洗い流したと伝わる場所。国道を右手に見下ろしながら進んで合流し、豊富稲荷神社を左にながめ、国道沿いの歩道を進みます。采女南の交差点を左にまがり、工場地帯を500mほど進むと右手に鈴鹿市考古博物館が。国指定史跡「伊勢国分寺跡」の南に隣接して建てられた考古学専門の博物館です。のんびりとした農道を進んでもとの道に戻り、国道を渡ったらゴールの国分バス停はすぐそこです。

寄り道グルメ

小古曾 二・七の市



地名の由来にもなっている四日市市内では、今も各地で市が開かれています。50年続く二・七の市は、自家製野菜や果物、鮮魚、加工食品などが販売され、地元の住民で賑わっています。

- 電話 / 059-345-0939 (山中茶舗)
- 開催日 / 毎月2・7のつく日
- 開催時間 / 8:30 ~ 11:30

御菓子司 菊屋本店

大正7年創業の老舗。杖衝の由来にちなんで作られている銘菓「采女の杖衝」は、求肥を上品な小豆あん包み、笹と蓑をかたどった最中に仕上げられています。併設された茶房・滴水亭もおすすめ。



採女の杖衝 1個210円▶

- 電話 / 059-345-5037
- 営業時間 / 8:00 ~ 18:30
- 水曜、第3火曜定休
- URL <http://www.kikuyahonten.com>

花と水に親しむ  
ウォーキング

# 丹生大師と 立梅用水をめぐる道

2011年度  
上期号

古代から栄え、今も人々が町を守り続ける丹生の歴史を訪ねよう



佐奈駅



馬頭観音



大楠



車田



近長谷寺入り口



丹生大師



大師堂へ向かう石段の左わき、小屋のようなものは回廊。中はやはり大師堂への階段になっている。高貴な方が参拝されるために作られたのだとか。



空海ゆかりの真言宗の古刹「丹生山神宮寺(丹生大師)」の門前にある多気町丹生。奈良時代に水銀が発見され、以来水銀発掘の町として栄え、江戸時代には伊勢商人の発祥の地として、宿場町としても栄えました。

丹生大師や水銀坑跡、たくさん宿場などの歴史を残す場所を、地元住民たちが整備した「あじさい通り」や「ピオトープ」が彩ります。かつて、伊勢参宮道として多くの人が歩いた和歌山別街道をたどりながら、里山の昔と今を訪ねてみませんか。《コース全長》6.8km/約2時間

【佐奈駅】 | 0.6km ↓ 馬頭観音

和歌山別街道沿いにあるJR佐奈駅からスタートします。

【馬頭観音】 | 0.7km ↓ 大楠

前村にある馬頭観音像は小さな祠のなかに祀られています。頭上に馬頭をいただき、忿怒の相をした観音様で、馬を守護する神様として江戸時代に広く信仰されました。明治時代中頃まで、このあたりには旅人のための馬や駕籠の屯所があり、大変な賑わいを見せていたといわれています。

【大楠】 | 2km ↓ 車田・近長谷寺入り口

和歌山別街道からちよつと離れて線路沿いに歩くと、大楠に出会えます。樹齢600年、高さ36m、幹の周りは7.5m。神坂の守山神社を遷したときの神木であったと伝えられており、根元には大楠神社が祀られています。

【車田】

珍しい円形の田は、「長谷の車田」と呼ばれます。半径11m、面積38㎡。円形にした理由ははっきりしませんが、豊作の神が降りてくる目印であるとか、恵みの太陽を表すなど、諸説あります。ここでとれる米は伊勢神宮や佐那神社へ奉納されます。

【近長谷寺入り口】 | 2.4km ↓ 丹生大師

車田のすぐ向かいに近長谷寺入り口があります。ここから約700mの山道を上がったとどろつきます。885年に南伊勢の豪族・飯高氏によって建立された近長谷寺は、本尊の十二面観音立像が国の重要文化財に指定されています。(日曜・祝日・毎月18日のみ開帳)

【丹生大師】 | 0.1km ↓ ふれあいの館

774年、空海の師である勤操大徳によって開創された古刹です。815年には、唐から帰国した空海が諸国を巡る際に立ち寄り、本堂に勤操大徳創立の文字を見て、七堂伽藍建立を決意したと伝えられています。真言宗総本山の高野山と違い、こちらは女性の参詣を許されていたので「女人高野」と呼ばれ、昔からたくさん信者を集めてきました。蓮池も有名で、夏の朝には咲き誇る睡蓮が楽しめます。金剛力士、持国天、多聞天を祀る山門は、町の重要文化財に指定されています。

《←4ページに続く》

## 《伊勢神宮への近道》和歌山別街道

和歌山と松阪を結ぶ和歌山街道から、飯南町粥見で分岐したのが和歌山別街道です。榎田川を渡り、丹生、玉城町田丸へ向かい、田丸で伊勢本街道と合流するため、伊勢参宮の道として、たくさんの方がここを通過して神宮へ向かいました。紀伊、大和からの参宮者にとっては、神宮への近道でもあったのです。和歌山街道は江戸時代、紀州藩の本城と松阪城を結ぶ道であり、和歌山別街道は本城と田丸城を結ぶ道という位置づけで、参宮道としてだけでなく、政治的にも重要な街道であり、江戸時代には街道沿いに様々な宿場や茶屋が立ち並びました。





せいわの里 まめや

勢和大豆と野菜のおいしさを一躍ひろめた農村料理バイキング

「勢和でとれる大豆や米をもっと食べてほしい」。地域住民による農村料理バイキングの店「まめや」がオープンしたのは平成17年。こんな田舎にバイキング?と、始める前は反対意見が大多数だったというのが信じられないほどの、今では大人気店となりました。揚げたてのおあげさん、あじご飯、味噌汁、天ぷら、煮豆など、勢和の素材を使った、なつかしい田舎料理がずらり。大豆畑を見渡す眺めも素敵です。



おかず、ごはん類からデザートまで、常時25〜30種が並びます。大人1,000円、小人(4歳〜小学生)500円

隣にある直売所では、大豆加工品も販売。とくに「おあげさん」はおいしいと評判です。



勢和で農業を営む住民の共同出資で生まれました。平成20年度「立ち上がる農山漁村」に認定されるなど、地域おこしの成功モデルとしても注目されています。



- 三重県多気郡多気町丹生5643
- TEL 0598-49-4300
- 10時〜17時(バイキングは11時〜14時)、木曜休
- <http://www.ma.mctv.ne.jp/mameya/>

丹生を水と土と花でうるおす地域運動の祭典

彦左衛門のあじさいまつり

自然の保全と活用を目的に、1993年から始められた「あじさいまつり」は、立梅用水沿いなどに合計1万本以上植えられ、丹生はあじさいの名所になりました。この運動を象徴するお祭りが、6月に行われる「大師の里 彦左衛門のあじさいまつり」。立梅用水(水)、田んぼ(土)、緑豊かな資源空間(里)を舞台に、これらの恵みに感謝する「水土里(みどり)の祭典」です。彦左衛門とは、江戸時代の丹生の地土・西村彦左衛門のこと。彼が私財を投じて立梅用水の建設や新田開発に尽くしたことからこの名がつけられました。山々や木々、そしてあじさいが生命力をみなぎらせる初夏のこの場所で、さまざまなイベントを通して、町内外の人の交流をはかります。



立梅用水(あじさいの小径)



ふれあいの館



立梅用水



大師の里メダカ池

第15回「大師の里 彦左衛門のあじさいまつり」

6月12日(日) 9:00〜15:30(雨天決行)

- 場所 / 丹生大師の里周辺
- 主催 / あじさいまつり実行委員会 (TEL 0599-49-7077)
- 協賛 / 多気町勢和地域資源保全・活用協議会

予定イベント

相可高校食物調理科野外レストラン、お菓子コーナー、まめやの農村料理、特産品販売、田んぼのコンサート、立梅用水ポート下り、餅まき、よさこいソーランフェスティバル、他



「あじさいまつり」最大のイベント、用水ポート下り。



ピオトープでコンサートも開かれる。



泥まみれになりながら30mの網を引き合う網引きは、休耕田の新しい活用法。

丹生のまち

古代から栄えた由緒あるまちの息吹があちこちに

奈良時代に水銀が発見され、まちは大変栄えました。仏像や調度品の金具、メッキ、顔料の材料などに使われた水銀は貴重で、当時日本で作られた水銀のほとんどがこの丹生で採掘され、奈良の東大寺大仏にも使われました。丹生のまちは全国から商人や鉱夫が集まり、大変な賑わいを見せたといえます。中世になると、だんだん水銀産出量が減り、町も衰退していききました。しかし近世になると伊勢商人発祥の地、丹生大師の門前町宿場町として再び栄え始めます。多くの宿場や寺院がそのまま残り、今も当時のにぎわいを感じられます。



水銀坑跡 左が古代のもの、右が昭和のもの。



水銀精錬装置



【ふれあいの館】 | 0.4 km ↓ 大師の里メダカ池

地元の農家が持ち込んだ新鮮野菜が買える、丹生大師門前のお店。伊勢いも、しいたけ、日本茶など丹生・多気の名産品も並びます。

- 8時30分〜18時(10〜3月は17時まで)
- 火曜休(21日が火曜の場合は翌日休)

【大師の里メダカ池】 | 0.2 km ↓ 立梅用水

荒れた休耕田の水田機能を維持すること、年々減り続けるメダカを育てることを目的として田んぼにピオトープが作られました。毎年「しろかき」(土の攪拌)をして手入れした田んぼには、たくさんメダカが泳ぎ、ホテイアオイが茂る理想的な生態系があります。8月上旬にはホテイアオイの美しい青い花が咲き、9月には「大師の里メダカまつり」が開催されます。

【立梅用水】 | 0.4 km ↓ 水銀坑跡 (あじさいの小径)

丹生の町を支えてきた全長30kmの立梅用水は、約200年前、櫛田川をせきとめ、延べ25万人近くの人が力を尽くして作り上げた農業用水です。豊かな水が流れることで、たくさん米がとれるようになり、農民の生活を安定させました。近年、この用水をさらにしっかり守っていくと、用水脇にあじさいを植えるなど、地元の人々がさまざまな活動を行っています。

【水銀坑跡】

奈良時代から昭和時代まで断続的に水銀が掘られていたため、丹生のまちはあちこちに、水銀坑跡が残っています。

花と水に親しむ  
ウォーキング

# コスモス畑と 清流・員弁川をめぐる道

秋風にそよぐコスモス畑と員弁川流域の自然と歴史を訪ねよう

2011年度  
下期号



東員駅



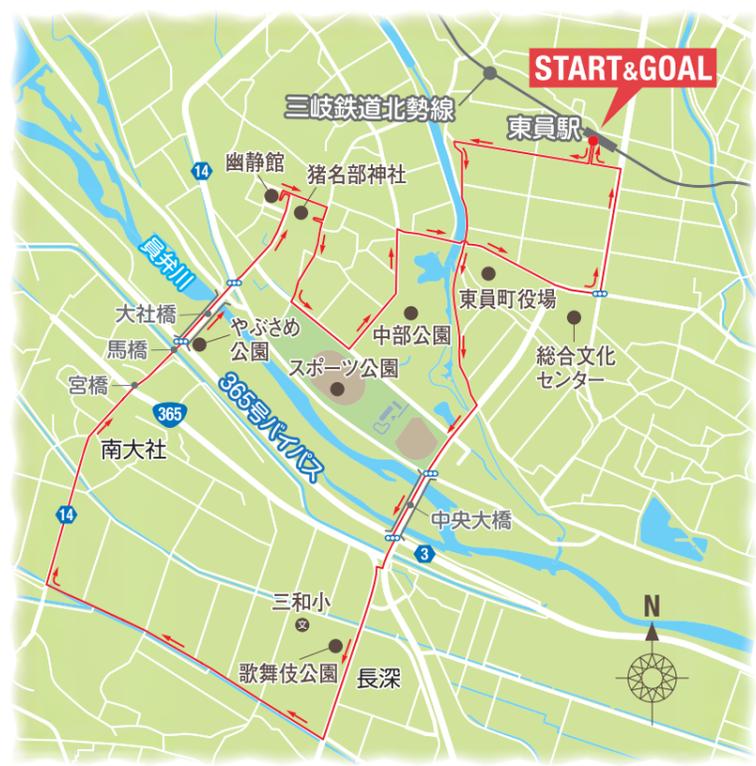
藤原岳を望む農道



宮橋



南大社の集落



東員町の秋の風物詩にもなっている休耕田に広がるコスモス群。濃紅、ピンクや白など色とりどりの花が青空に映え、爽やかな秋が感じられます。  
鈴鹿連峰にそびえる藤原岳を遠く望み、員弁川周辺に整備された中部公園やスポーツ公園をはじめ、上げ馬神社で知られる猪名部神社、幽静館などの史跡をめぐるコースを楽しんでみませんか。

《コース全長》 11.6 km / 約3.5時間

注/記事は平成22年10月の取材に基づいています。コスモス畑は東員町中部公園周辺で毎年開花場所が変わります。

【東員駅】 | 0.2 km ↓ 休耕田のコスモス畑

田園風景が広がる三岐鉄道・東員駅からスタートです。

【休耕田の  
コスモス畑】 | 0.5 km ↓ 東員町役場周辺

駅を出ると目前に広がる見事なコスモス畑が。この周辺では、毎年休耕田を利用して約400万本ものコスモスが咲き誇ります。ピンク色のじゅうたんの向こうに三岐鉄道の黄色い電車が走る姿を、カメラ愛好家が競って撮影する姿も見かけます。コースは駅前の道を西へ、員弁川の支流に出たところを左折して進みます。

【東員町  
役場周辺】 | 4.0 km ↓ 長深の田園風景

川沿いに道を進むと、町役場の近くに整備された小公園があります。こは川の西側、今回のウォーキングコース後半で訪れる中部公園の一部です。道を川沿いに進み、大きな道路に出たら右折。しばらく直進し、員弁川にかかる中央大橋を渡り、三和小学校へ向かいます。

【長深の  
田園風景】 | 1.8 km ↓ 南大社

小学校を右に見ながら進みます。小学校のすぐとなりには、東員町が生んだ歌舞伎界の名優・七代目松本幸四郎を記念して作られた歌舞伎公園があります。公園内には、幸四郎の当たり役であった弁慶を記念した弁慶のわらべ像や、歌舞伎の場面を表現したアートウォールなどがあります。コースを直進し、三孤子川が見えたら右折。遠く藤原岳が望める農道を進みます。県道14号(菰野東員線)に出たら右折し、南大社の集落に入っていきます。

【南大社】 | 1.0 km ↓ 大社橋

小さな集落は古い趣の住宅もあり、歴史を感じさせてくれるたたずまいです。国道365号を越え赤い宮橋を渡ります。橋の欄干から美しく整備された川面をのぞくと、色とりどりの鯉が泳いでいます。この水路は、地元の人たちの手によって環境保護と観光目的のため整備されたものです。川沿いには桜の木も植樹されており、春には川沿いに歩くウォーカーも多いそうです。さらに進み、次は馬橋を渡ります。馬に関する名前が出てくることから、猪名部神社が近いことがわかります。

《←次ページに続く》



花と水に親しむウォーキング

三重の  
元気で  
おいしい  
お店

タベルナ・グラッソ  
**Taverna Grasso**

ファミリーで気軽に楽しめる  
イタリア料理の店

レストランなのにドキッとしてしまう店名は、イタリア語で「太った(Grasso)居酒屋(Taverna)」という意味で、オーナーの伊藤さんが命名。地のものをメインの素材に、季節感とシンプルさを大切にしたいメニューで、お客さんのリピーター率はかなり高いのだとか。人気のパスタ料理からコース、アラカルトまで、旬の素材が活かされた味をご堪能あれ。デザートももちろんすべて手作りで、自分の好みでいろいろな楽しみ方ができるレストランです。



明るい店内は、大人数でも可能なレイアウト。個室感覚で静かに食事を味わえるボックス席もあります。



住宅街に近い立地と広い駐車場がうれしい。味のある小物が効いた外観も目を引きま。

- 員弁郡東員町中上280-1
- TEL 0594-86-0031
- 11時30分～14時
- 17時30分～21時
- 定休日 月曜日・不定休あり

人気の「かみその生クリームソースバグェティ・ずわいがにのサラダ添え」1,280円。ランチの「プリモビアットセット」は、好みのパスタまたはリゾット+サラダ+デザート+コーヒーで1,650円。300円プラスすれば好きなデザートをチョイスして加えられます。



広大な休耕田を利用して開催される花の祭典



中部公園周辺の休耕田を利用して毎年開催されている「コスモスマツリ」。4haを超える広大なコスモス畑は訪れる人を魅了します。花の見ごろは気候によって毎年前後するので、事前に観光協会にお問い合わせください。

東員町  
コスモス  
まつり

東員町コスモスマツリ

10月1日(土)～10月30日(日)

- 場所 / 三岐鉄道「東員駅」前
- 問合せ / (社) 東員町観光協会 (TEL 0594-76-6989)

予定イベント

- 流鏝馬道中  
猪名部神社を出発(予定)し、ポニーや木曾馬に乗った巫女、神官、武者の騎馬が連なる、往時をしのぶ道中です。10月9日(日)
- ポニーの乗馬体験  
土曜・日曜は、中部公園内ポニー広場で実施<有料>
- バザー  
土曜・日曜は、飲食物などの販売が行われます。
- コスモスフォトコンテスト  
コスモス畑・流鏝馬道中を撮影した写真を募集(締切:11月11日)



流鏝馬道中



昨年のフォトコンテスト  
入賞作品



ポニーの乗馬体験



幽静館



やぶさめ公園



スポーツ公園



猪名部神社



中部公園のパークゴルフ場



員弁川

【スポーツ公園と  
中部公園】 | 2.0 km ↓ 東員駅

神社の鳥居を出たら、前の細い道を下り、左手にスポーツ公園のメインスタンドが見えてきたら左折。この競技場は6,000人を収容できます。建物の前をさらに左折し北に進むと中部公園のパークゴルフ場が見えてきます。この公園は芝生広場、遊びの広場、バーベキュー施設なども整備されており、近くを流れる川の護岸が美しく整備されているので、ウォーキングには最適です。公園端の遊歩道を歩き、右折して役場の前を進みます。総合文化センター前の信号を左折すればゴールの東員駅です。

【幽静館と  
猪名部神社】 | 13 km ↓ スポーツ公園と中部公園

橋を渡り北へ。古い住宅街を縫う細い道を進みます。坂を上りながら歩いていくと公民館に隣接する幽静館が現れます。六角形の外観が特徴的なこの施設は、東員町名誉市民の故木村俊夫氏を顕彰するために旧木村邸跡地に建設されたもので、展示・資料館になっています。幽静館のすぐ東側には大きな杜に守られた猪名部神社があります。細い路地を東に進み古墳跡の境内を回り込み東側、正面の鳥居から進みます。この神社は毎年4月に行われる「上げ馬」流鏝馬「神事」が有名です。

【大社橋】 | 0.8 km ↓ 幽静館と猪名部神社

花と水に親しむ  
ウォーキング

風薫る六華苑と  
七里の渡跡をめぐる道

2012年度  
上期号

古き良き時代の風に触れ、花菖蒲が咲き乱れる公園を訪ねよう



七里の渡跡周辺



蟠龍橋



東海道



本田忠勝像



六華苑(洋館)



六華苑



六華苑(洋館)



六華苑(庭園)



花と水に親しむウォーキング



七里の渡跡



歌行燈句碑



住吉神社

初夏に九華公園を紫色に染める花菖蒲。約4,000株の花が紫色のグラデーションを奏で、堀の水面に美しく輝きます。

揖斐・長良川に沿って開けた桑名市は、歴史ある建築物や史跡が点在し、爽やかな風を感じながらウォーキングを楽しむには最適なコースです。水面のきらめきを感じながら、いにしへの賑わいを感じてみましょう。

《コース全長》6.2km / 約2時間  
注 / 記事内容は平成24年4月6日の取材に基づいています。九華公園の花菖蒲まりは、気候の変化により日程が変更になることがあります。

【桑名駅】 | 1.4km ↓ 六華苑

桑名市駅の北から東に延びる八間通。その名の通り幅10mを超す大きな通りから今回のコースをスタートします。近代的な街並が広がり、整備された舗道は気持ちよく歩けます。交差する国道1号を渡って次の信号を左折、住宅街の通りに入ります。左側にホームセンターが見えてきたら、その先を右折。この静かな通りを進むと、六華苑の蔵や裏門が見えてきます。

【六華苑】 | 0.3km ↓ 住吉神社

鹿鳴館で有名なイギリス人建築家コンドルが設計し、大正2年に完成した六華苑。四層の塔屋を持つ洋館と、池泉回遊式庭園を持つ和風建築からなり、国の重要文化財に指定されています。大正時代にタイムスリップしたような気分が味わえる素敵な施設です。六華苑の前を流れる揖斐川沿いを歩くと、住吉神社があります。このあたりは廻船の船溜まりで、全国から廻船業者が集まり、彼らの手によって建立された神社だそうです。

【住吉神社】 | 0.4km ↓ 七里の渡跡

堤防沿いの舗道を南に進み、水門を1つ越えて次の川口水門の手前を右折します。階段を下り、角に建つ旅館を回り込むように西に進むと、老舗料亭の扉に囲まれた歌行燈句碑があります。明治42年に作家・泉鏡花が桑名を訪れ、こを舞台に名作「歌行燈」を書きあげたことはあまりにも有名。ささほどの道に戻ると右側には、大きな鳥居が建つ七里の渡跡があります。熱田の宮から桑名まで海路七里にあったことからこの名が付けられました。当時は東海道42番目の宿場町として賑わい、この鳥居が伊勢国一の鳥居と称されています。

【七里の渡跡】 | 1.0km ↓ 九華公園

七里の渡跡前から東に延びる道を進むと、左側にひとさわ目立つ蟠龍橋があります。河口のまち桑名を象徴する橋は復元されたもので、館内を見学することもできます。その先、緩やかなカーブにそって広がる芝生公園が見えます。こは桑名城の三の丸跡で、吉之丸コミュニティパークとして市民の憩いの場になっています。さらに進み桑名市民プールが見えたら右折。公園に沿って進むと本田忠勝の銅像があります。慶長6年に桑名城主となり、町の大改造を行った人物です。この銅像の前、南側に堀に囲まれた自然豊かな公園が九華公園です。

《←次ページに続く》



三重の  
元気で  
おいしい  
お店

日本料理 丁子屋

桑名名物のはまぐりを堪能できる  
本格的日本料理店

桑名市駅の東側に広がる商業エリアにお店を構える丁子屋。天保14年に創業した老舗で、はまぐり料理は絶品です。懐石料理やはまぐり料理の他、鰻やふぐなど地元で獲れた旬の素材を活かした料理をいただけます。店内は、カウンター席の他、掘りごたつ、畳いす席などがあり、落ち着いた雰囲気の中でお料理を楽しめます。



▲昼はま膳(昼のみ) 2,625円  
桑名名物の焼きはまぐり、煮物、茶碗蒸し、香の物  
「はまぐり茶漬け」か「はまぐり雑炊」が選べます。

▲九華(くわな)御膳(昼のみ) 1,890円  
天ぷら、煮物、小鉢、酢の物、茶碗蒸し、赤だし、しぐれご飯、香の物、デザート  
※刺身つき、焼きはまぐりつき、はまぐり酒蒸しつき…各2,940円



- 桑名市寿町3丁目56-1
- TEL 0594-22-6868
- 11時~14時、17時~22時(ラストオーダー20時30分)
- 毎週木曜・第3水曜休

紫色のグラデーション

はなしょうぶ  
花菖蒲まつり

揖斐川にほど近い桑名城跡に造成された九華公園。揖斐川から水を引き込んだ堀を残し、自然豊かな公園として市民に親しまれています。毎年6月に入ると、園内の3つの菖蒲園には伊勢系、肥後系、江戸系の約4,000株の花菖蒲が美しく咲きそろう、紫のグラデーションに染まります。



期 間 6月1日(金)~6月15日(金)  
場 所 九華公園  
問合せ先 桑名市物産観光案内所 (TEL 0594-21-5416)

日本一やかましい祭り

いしどりまつり  
石取祭

江戸時代から桑名の町衆の祭りとして発展してきた歴史ある祭りで、国の重要無形文化財に指定されています。春日神社周辺では、豪華な祭車が打ち鳴らす鉦と太鼓が鳴り響き、「日本一やかましい祭り」と言われています。祭車は職人の技の粋を集めた見事な彫刻に漆を施したもので、絢爛な天幕と合わせ、一見の価値があります。毎年8月の第1日曜とその前日の土曜に行われます。



期 間 8月4日(土)~8月5日(日)  
場 所 春日神社周辺  
問合せ先 桑名市物産観光案内所 (TEL 0594-21-5416)



【石取会館】 | 1.4 km ↓ 桑名駅前  
石取会館から西へ向かうと、大きな通りの左角に建つ桑名市博物館。昭和60年に三重県下で初めて開館した市立博物館です。博物館の前、京町交差点の信号を渡り、右折し北に向かいます。300mほど進み八間通を左折。最初に来た舗道に戻り、桑名駅に向かえばゴールです。

【春日神社】 | 0.5 km ↓ 石取会館  
8月に行われる石取り祭で有名な春日神社。祭の期間中は鉦や太鼓の音が鳴り響き、多くの人で賑わいます。神社を出たら鳥居のある交差点まで戻り、右折。細い道を進むと、先ほどの外堀が見えてきます。この外堀を囲む石垣は桑名城の城壁。約500mが現存し市の文化財に指定されています。道路沿いに整備された「歴史を語る公園」から往時をしのぶことができます。公園の南端、左側に風情のある太鼓橋が見えたら、右折。住宅街を100m程進むと右側に見えるのが、大正ロマンを彷彿とさせる石取会館です。展示されている漆仕上げの祭車は江戸時代末期のもので、当時の技術の粋を集めて作られました。館内ではビデオ映像やパネルで石取祭を知ることができます。

【九華公園】 | 1.2 km ↓ 春日神社  
桑名城跡に造成された九華公園は、水堀に囲まれた美しい公園です。春から初夏にかけて桜、つじ、花菖蒲の名所として多くの花見客が訪れます。公園は堀にかかる橋を渡る回遊式になっていて、水面に映る花景色を楽しめます。西側に架かる扇橋を渡って公園を出たら、堀沿いを北に進みます。70m程進み左折、外堀に架かる赤い欄干の中橋を渡ったら、目の前に現れる大きな神社が春日神社です。

紅葉と水に親しむ  
ウォーキング

# 近畿の奥座敷・湯の山温泉で 晩秋の紅葉を愛でる道

1300年の歴史を持つ名湯の温泉街の、もみじで彩られる散策路を歩いてみよう

2012年度  
下期号

その昔、傷ついた鹿が傷をいやしたという伝説から別名「鹿の湯」とも呼ばれる湯の山温泉。三滝川上流の清流をばさんで温泉旅館が建ち並ぶ風情は、良き昭和時代の名残を残しています。

毎年10月に入ると、目の前にそびえる御在所岳山頂から紅葉が下り始め、11月下旬になると温泉街のあちらこちらで紅葉が色づき始めます。今回はちょっと温泉街散策の気分で、そぞろ歩いてみましょう。

《コース全長》2.2km / 約35分

注：記事内容は平成23年11月8日及び24年9月1日の取材に基づいています。気候の変化により紅葉時期は変動します。

## 【バス停・湯の山温泉】

150m ↓ 涙橋

近鉄・湯の山温泉駅からバスで10分ほど揺られ、名湯・湯の山温泉に到着。温泉街の入口には、恋結び折鶴伝説の街湯の山の大きな看板が迎え出てくれます。

バス停は終点。ここで降りて、散歩感覚のコースをスタートします。目の前にある交差点を渡り、急な坂道を歩き始めます。平日は観光客も少なく、ひっそりと静まる坂道を進みます。道が平坦になったら、目の前にある橋が「涙橋」です。



バス停・湯の山温泉

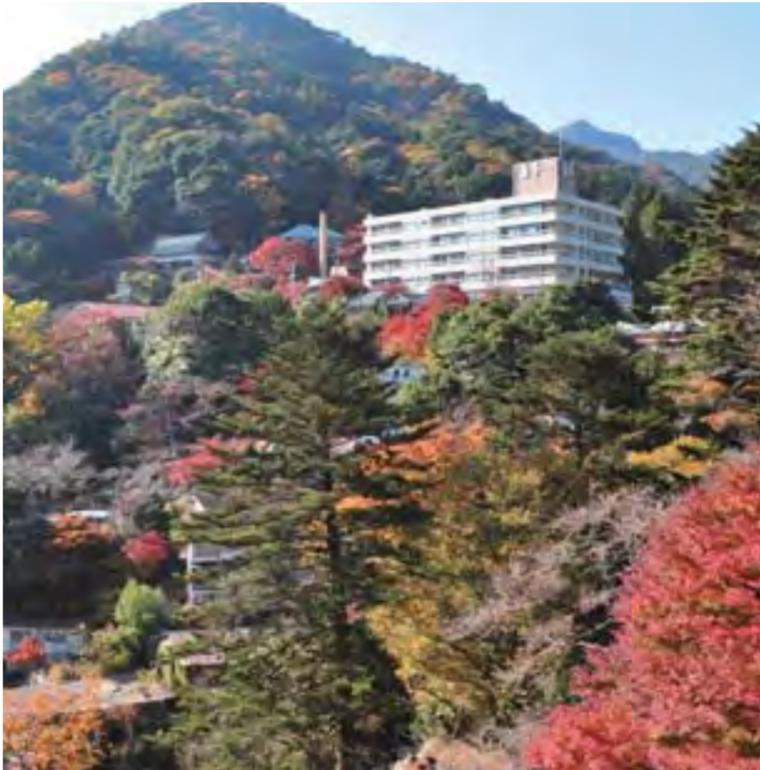
涙橋



翠明館横の石段



中之島公園



中之島公園



中之島公園



## 【涙橋】

300m ↓ 中之島公園

こゝ湯の山温泉は、赤穂浪士の大石内蔵助にまつわる謂われが多く残っています。この橋は、内蔵助が愛人・阿軽と涙ながらに別れたという言い伝えにより、涙橋と呼ばれています。湯の山温泉の橋には、このほかにも「契橋」や「誘橋」



など少しなまめかしい名前が付けたものがあります。橋の下を流れる川底には、「孤野石」と呼ばれる白く大きな石がたくさんあります。このあたりで産出されるこの石は、苔が付きやすく自然な味わいが人気で、造園用庭石として人気があります。

## 【中之島公園】

650m ↓ 大石公園

涙橋を渡り、右手に建つ旅館・翠月の前の細い路地を進みます。ここからは車は入れない小道ですので、ゆったりとした気分で散策できます。緩やかな傾斜の道を進むと、正面にこんもりとした林が現れます。三滝川の渓流に架けられた小さな橋や東屋が設置された「中之島公園」は、季節毎の自然が美しく、観光客の憩いの場になっています。公園をぐるりと1周したら、旅館・翠明館の横に造られた石段を上っていきます。旅館街を縫うように造られた石段は「湯の山遊歩道」と名付けられ、辻毎に行き先が示されているので、初めて歩く人でも迷わずに目的地を目指せます。石段を上り、車が走る県道577号に出たら右に曲がります。川に沿うように橋を2度渡りながら、上流に向かって進みます。

《1次ページに続く》

花と水に親しむウォーキング



お食事処 **マコモの里**

町の特産品・マコモを使って  
「おいしい菰野町」をPR

国道477号沿いの道の駅「菰野ふるさと館」の敷地内で、菰野町観光協会が運営する「お食事処 マコモの里」。ここで提供されるメニューは、町の特産品・マコモを中心に開発されたユニークなものです。マコモ入りのコロッケ「まこコロ」は限定50個で販売され、毎回完売する人気だとか。ほかにもマコモの粉末を練り込んだマコモ麺、菰野茶とブレンドしたマコモ茶など、マコモづくしがセールスポイントです。



隣接する「菰野ふるさと館」は、菰野町の観光情報サービスステーションとして機能するほか、マコモ関連商品や、菰野町の特産品を販売しています。

マコモって？

マコモ(真菰)は「菰野町」の名前の由来となった植物。緑葉には豊富な栄養素が含まれ、粉末にして麺類や菓子・ケーキとして使われ、根に近い茎はマコモタケとして秋に収穫され、タケノコのような食感を様々な料理で楽しむことができます。



▲「まこコロ丼・まこも麺」750円  
人気のまこコロを1個使った丼と、まこも麺、デザート、マコモ茶がセットになっています。



● 菰野町菰野2256 ● 11時～16時  
● TEL 059-394-0050 ● 土・日・祝日のみ営業

冬のおすすめイベント

わくわく温泉チケット

平成25年 1月6日～3月24日

1枚500円のチケット(タオル付)で、湯の山温泉の各旅館で日帰り入浴が利用できます。

※わくわく温泉チケットは、おひとり様1枚1回限り有効です。  
※利用できる施設等については、事前にご確認ください。

問合せ先 湯の山温泉協会  
TEL 059-392-2115



写真は昨シーズンのものです

きららのおひなさま

平成25年 2月4日～3月3日

早春の湯の山温泉で、きらびやかなおひな様が観光客を迎えてくれるイベント。温泉街のいろいろな施設でおひな様が展示されるほか、「おひな様ランチ」が楽しめます。また女性の方限定先着順に、入浴割引券などお得な情報満載の湯の山おもてなしリーフレットをプレゼント!!



問合せ先 湯の山温泉協会 TEL 059-392-2115

スキーだけじゃない! 御在所スキー場

三重県唯一のスキー場。条件さえそろえば、樹氷に出会えるチャンスも! 家族で楽しめるウインタースポーツをご紹介します。

スノーシューコース

御在所山上公園内の雪が積もった散策路を、スノーシューを履いて散策します。1m近く積もった雪の上も歩けます。

最長散策距離 / 3,000m  
[所要時間60分]

※距離や時間は散策場所により異なる  
※スノーシュー本体とストックのレンタルあり



ちびっこそりゲレンデ

そり専用のゲレンデで、そり遊びができます。

最長滑走距離 / 100m  
[最長コース幅40m  
平均斜度5度]



問合せ先 御在所ロープウェイ TEL 059-392-2261



大石公園

御在所ロープウェイ

湯の山温泉街と御在所岳山頂を結ぶ全長2.1kmのロープウェイ。開業は1959年で50年を超える。白い6号鉄塔は61mあり、日本一の高さを誇ります。赤いゴンドラからは、伊勢湾や知多半島、渥美半島も望め、格別のパノラマが広がります。

乗車料金(往復)	大人2,100円、小人1,050円
営業時間	4月～11月 … 9時～17時 12月～3月 … 9時～16時
問合せ	TEL 059-392-2261



御在所ロープウェイ

大石公園



大石橋から上流を望む

大石公園



三岳寺

【大石公園】 | 500m ↓ 三岳寺

川沿いに進む県道からは、御在所ロープウェイの赤いゴンドラが間近に見えます。ゴンドラに乗っている人が手を振るの見えるほどの距離です。先に見えてくる3つ目の赤い橋が「大石橋」。この橋の向こうに「大石公園」があります。その名のとおり、川沿いに大きな御影石があり、日本一大きいとも言われています。他にも巨岩や奇岩が多く見られ、溪流と木々がありなす四季の美しさに地元の人も多く訪れる公園です。この公園から山側に進むと、東海自然歩道につながっていきます。散策ルートは大石橋を戻り、県道577号とY字に分かれている古い道を進みます。



【三岳寺】 | 600m ↓ バス停・湯の山温泉

山肌の傾斜がせまり、静かな道を進んでいくと、右側に「三岳寺」が見えてきます。三岳寺は、807年に最澄により創建されたといわれる古刹。当時は僧兵たちの集う山岳宗教の拠点でした。毎年10月に行われる僧兵たちの集う、当時の勇壮さを再現しています。また近年では恋結びの寺としても有名です。恋人たちの伝説「折鶴伝説」にちなみ、折鶴を奉納すると恋が成就するといわれています。三岳寺から奥に進む道は観音山遊歩道として整備され、山歩きコースになっています。湯の山温泉の湯元もこの観音山にあります。三岳寺を後にして、先ほどの道を下りながら進むと、県道577号に出ます。そのまま県道を渡れば、翠明館横の石段です。行きに歩いてきた道をそのまま辿れば、バス停に着きます。





# いにしえの旅人が行き交った、 神宮へ続く道を歩く

2013年度  
上期号

「参宮街道」とも呼ばれ、昔から多くの旅人が歩いた伊勢街道。今なお歴史の香りを残す道を歩いてみよう。



呑海工房



水池土器製作遺跡



伊勢街道の街並



擬革紙煙草入資料館



明和町から伊勢市へ



しいの辻



弘法大師堂



国史跡離宮院跡



へんば屋



妻入りの家並

明和町から伊勢市へ抜ける県道428号は、かつて伊勢神宮へ詣るために多くの旅人たちが行き交った道です。道路沿いには、今も当時の名残である史跡や古い街並もわずかに残されており、当時の伊勢詣での賑わいを感じてみたいものです。

近鉄山田線明星駅 3.3km ↓ JR参宮線宮川駅

《コース全長》6.5km / 約2時間

注/記事内容は、平成25年4月15日の取材に基づいています。

近鉄明星駅 3.0km ↓ 弘法大師堂

斎宮駅のひとつ伊勢寄りの「明星駅」。ここから伊勢街道のウォーキングはスタートです。駅を降りたら、まちかど博物館の「呑海工房」を右手に正面の道を進みます。300mほど進むと突き当たる通りが県道428号、今回歩く伊勢街道です。

伊勢に向かう前に少し寄り道を。右に曲がり、看板に従って左折。住宅街の奥にあるのが「史跡水池土器製作遺跡」です。斎宮で使う土器が作られたとされる奈良時代の遺跡で、現在は公園になっています。

来た道を戻り、伊勢街道を右に曲がります。このあたりは、古い蔵や板塀の屋敷も残っています。1kmほど進むと右側に見えるのが「擬革紙煙草入資料館」の黒い門です。江戸時代にお伊勢参りの土産物として人気が高かったのが、擬革紙製の煙草入れで、この屋敷では江戸時代から

明治にかけて販売していたそうです。

100mほど進むと左側に「従外宮一里」と刻まれた小さな道標が。外宮さんまではあと8kmほど。昔の人の心は躍ったことでしょう。ここからさらに300m進むと、左側に「弘法大師堂」が現れます。参宮客もここに納められている仏様を拝んだことでしょう。

【弘法大師堂】 3.5km ↓ JR宮川駅

「弘法大師堂」を過ぎると、伊勢市に入ります。このあたりから道幅が狭くなりますので、自動車には十分に気をつけてください。800mほどのところで初めての信号です。これを渡って200mほどで次の信号が。この丁字交差点が「しいの辻」です。昔、大きなシイの木があったことからこの名前がつけられました。この信号を右に曲がります。ここから次の信号までの500mほどは、とくに交通量が多くなるので気をつけて。少し進むと、左手に見える趣のある日本家屋が「へんば屋」です。安政年間創業のへんば餅を現在も変わらぬ味で販売している老舗です。

コースは先に進みます。次の信号で右側の旧道を進みます。ここからは、また車の往来が減るので安心して歩けます。このあたりは妻入りの家並が美しく、昔の風情が感じられます。さらに進んで橋を渡り、次の信号を越えたらから商店が並び始め、すし賑やかな雰囲気になります。「紀州藩高札場跡」の碑の横を過ぎ、JRの踏切を渡つてすぐを右折します。線路沿いの道の左側に、うっそうと森の茂る公園があります。

これが「国史跡離宮院跡」です。離宮院は神宮の事務を取り扱う大神宮司の政庁が置かれていたところで、度々の駅家も兼ねていました。ゴールのJR宮川駅はすぐ目の前です。

歩いて行くなら...

この先の伊勢街道は、自動車の交通量が多いので、安全に充分にお気をつけください。外宮まではあと4kmほどです。

電車に乗るなら...

JR宮川駅から2駅乗れば、外宮に最も近い伊勢市駅です。楽しい旅をお過ごしください。

ここから先は...



# 自然のなかの古墳を数えながら お伊勢さんに続く初瀬街道を歩く

美しい家並が残る初瀬街道から、能楽の創始者・観阿弥ゆかりの地を訪ねよう



名張市東部に位置する美旗地区には、伊賀地区最大規模の古墳群があります。また、能楽の創始者・観阿弥が創座したと伝わる史跡もあり、いにしへのロマンに満ちた美旗地区を初瀬街道を楽しみながら歩きましょう。

近鉄美旗駅 11.0 km / 約3時間

近鉄美旗駅(周回コース)

注/記事内容は、平成25年9月7日の取材に基づいています。

近鉄美旗駅 1.6 km ↓ 美波多神社

近鉄「美旗駅」は、住宅街に囲まれた、小さな駅です。この駅を出て、正面の県道692号を右折すると、すぐに「美旗古墳群」のひとつ「馬塚」が現れます。一見、起伏のある公園のように見える部分が古墳で、国の史跡に指定されています。歩いてきた道を戻り、200mほど進み「初瀬街道」に出たら左折。初瀬街道は道路が土色に舗装されているのが目印です。踏切を越え、歴史を感じさせる家並の先、常夜燈の手前を右折。300mほど広い道が続き、右手には田園風景が広がります。その突き当たりに見える鳥居が「美波多神社」の参道入り口です。

美波多神社 2.5 km ↓ 常夜燈

「美波多神社」でお参りを済ませたら、左折。水路沿いの小路を進みます。左手に広場が現れ、その隣は工業団地が広がるので、自然の景観が失われつつあるようです。さらに細い道を進むと、左手に木々が茂る森が見えてきます。これが「毘沙門塚」。前方後円墳ですが、今はその形はわかりません。さらに進むと、近鉄の上に架かる「跨線橋」を渡ります。ここは電車好きにはたまらないスポットでしょう。橋を渡り、ほとんど畔道のような道を進むと左手に湿地帯が現れます。その奥にある森が「女良塚」。少し神秘的な雰囲気があります。そのまま進むと、舗装された県道57号に出るので、右折し一度初瀬街道まで戻ります。左手に美旗小学校が見えてきたら、その先が街道です。この辺りも歴史を感じさせる建物が点在します。1kmほど進むと、交差点手前に「地藏堂」があります。交差点の向こう側には「常夜燈」があります。

常夜燈 2.2 km ↓ 観阿弥ふるさと公園

「常夜燈」に沿って直進します。田園から徐々に上り坂になり、集落に入ります。狭い道になり、右手に「滝川氏城跡公園」の案内が見えたら左折し、坂を上ります。狭い道をどんどん上っていくと、ぶどう畑が現れます。その先は下り坂。林を進み、突き当たりを右折。広い道路に出たら左手が「姥ヶ芝池」。舗装道路を緩やかに下り、集落に入ります。小波田川に出たら左折し、国道165号を渡ります。「観阿弥ふるさと公園」の案内看板が見えたら、左の山に入ります。

観阿弥ふるさと公園 4.7 km ↓ 近鉄美旗駅

「観阿弥ふるさと公園」は、小高い山腹に作られた公園で、「観阿弥創座之地」の記念碑と能楽堂があります。毎年11月の第1日曜には「観阿弥まつり」が開催されます。公園を出て、もとの道に戻ります。国道を渡り、今度は川沿いの堤防を歩きます。見晴らしのよい道を進み、工場が見えてきたら右折し、さらに工場前で左折。200mほど進んだらまた右折し、先ほどの常夜燈を目指します。途中、右手に「貴人家」が、田んぼの真ん中に現れます。常夜燈のところまで戻ったら初瀬街道に出て、来るときに歩いた道を反対に進み、美旗駅まで戻ればゴールです。



能楽堂(観阿弥ふるさと公園)



地藏堂



女良塚



観阿弥記念碑(観阿弥ふるさと公園)



常夜燈



姥ヶ芝池



初瀬街道の街並



貴人家



田園風景



初瀬街道の街並



美旗古墳群



初瀬街道の街並



毘沙門塚



跨線橋



美波多神社



初瀬街道の街並





# 大黒屋光太夫ゆかりの地と

## 鈴鹿の古い街並を歩く



ロシアへ漂着後、幾多の苦難を乗り越えて帰国した大黒屋光太夫の面影を探し、海沿いの街道を歩いてみよう



大黒屋光太夫像



心海寺の堀



見潮寺



心海寺



小川神社

見潮寺前の石碑



大黒屋光太夫記念館



天日干しのカタクチイワシ



千代崎海岸



光太夫の碑



白子漁港近くの古い街並



江戸両組常夜燈



白子漁港



新紅屋橋



勝速日神社



江島公園



江島若宮八幡神社



プチ列車旅で楽しむ One Dayウォーキング

昔から沿岸漁業が盛んな鈴鹿市。春はカタクチイワシの稚魚、ユナゴやアサリ漁、晩秋からはノリ養殖へと海岸線を彩る風物詩も移り変わります。1782年、大黒屋光太夫を船頭に江戸へ向かった神昌丸は、漂流の末ロシアにたどり着き、10年の歳月を経て三重に戻りました。今回は光太夫にゆかりのある地を訪ね、海沿いのコースを歩いてみましょう。

近鉄伊勢若松駅 19.1km ↓ 千代崎港

近鉄伊勢若松駅 7.6km / 約2時間30分

注/記事内容は、平成25年9月19日の取材に基づいています。

近鉄伊勢若松駅 1.9km ↓ 千代崎港

近鉄「伊勢若松駅」の小さな駅を下りると、目の前のロータリーにひととき目立つ「大黒屋光太夫像」。こちら東に向かい踏切を越えた先の交差点を右折します。古い住宅街を通る細い道を進みますので、車には注意してください。700mほど進むと、左側に大きな石碑、右側には「見潮寺」の参道が。さらに進むと、正面に若松小学校が見えてきますので、左折。正面には「大黒屋光太夫記念館」が公民館に併設されています。すぐ近くには黒壁が印象的な「心海寺」とその向かい側には「小川神社」の鳥居も見えます。400mほど進むと、少し大きな道路に出ます。これが「塩浜街道」です。道路を横断して、向こう側の路地に入ります。密集した住宅街のなかを進むと墓地があり、ここは「光太夫の供養碑」が建てられています。現在修復中で見ることはできません。そのまま道沿いに歩くと、

「千代崎港」に出ます。港の北側は魚市場と公園になっています。防波扉には光太夫の物語の壁画も。海岸ではカタクチイワシが天日干しにされていて風情を感じます。

千代崎港 4.2km ↓ 白子漁港の水門

千代崎港を回り込むように進み、塩浜街道にいったん出たら橋を渡り、港の反対側へ。道沿いに海に向かうと堤防が現れ、整備された道に出ます。ここからの伊勢湾の眺めは素晴らしい。海岸は海水浴場にもなっています。保養所や別荘が並び、途中には、上部が少し欠けた「光太夫の碑」も。冬になると、この海岸は海苔を養殖する海苔がたが並びます。堤防の道では、ジョギングやウォーキングをする人の姿も見かけます。2kmほど進むと、右手に羽根の形をしたオブジェが現れます。緑豊かな「江島公園」のなかを歩き、道路に出たら左折。すぐ右側の大きな敷地が「江島若宮八幡神社」。ここには県文化財の絵馬が多数奉納されています。また神社の前の「江戸両組の常夜燈」は、この辺りがかつての白子港だったことを示しています。道沿いに進むと、左側にはかつての街道を偲ばせる松並木も。住宅街をそのまま進み、左側に堤防が現れてきたら、目の前に大きな水門が。白子漁港までは、もうすぐです。

白子漁港の水門 1.5km ↓ 近鉄白子駅

水門を左折すると「白子漁港」が眼に飛び込んできます。漁港を見下ろしながら、赤い欄干の「新紅屋橋」を渡ります。正面が漁港の水揚げ場になっていて、タイミングが合えば水揚げの様子を見ることが出来ます。漁港の敷地内を海沿いに右手に進むと、綺麗に整備された公園内に「大黒屋光太夫モニュメント」があります。漁港から離れ、言い伝えが残る「紅屋橋を渡り、市街地へ向かいます。右手に和田橋が現れてきたら右折。参宮街道の名残を感じさせる古い街並が点在しています。300mほどの突きあたりに「高札場跡」の看板が見えたら左折し、商店街のある大通りに出ます。右手にモータースポーツの折願で有名な「勝速日神社」が見えたら、ゴールの「近鉄白子駅」はもう目の前です。

# 松阪農業公園 ベルファーム

三重県 松阪市



松阪農業公園ベルファームは、地域の農林水産業振興を目的に作られました。大地の上で運動し、風景を楽しみ、作物を育て、食べて、買って... 山々を見渡す松阪の美しい自然とその恵みを、120%堪能できる農業公園です。

- 住所 / 三重県松阪市伊勢寺町551-3
- 電話 / 0598-63-0050
- 入園料 / 無料
- 開園時間 / 9:00~21:00 (施設により異なります)
- 休園日 / 1~3月の毎週水曜 (祝日の場合は翌平日、1月1日)
- ※イングリッシュガーデンは毎月第3水曜定休 (雨の場合翌日)
- アクセス / 伊勢自動車道・松阪ICから東に約500m
- URL / <http://www.bellfarm.jp/>

2011年度 上期号

Matsusaka Farm Park Bellfarm

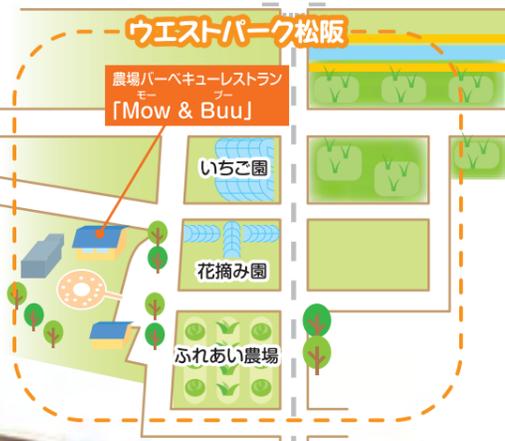


## イベント情報

### 夏の昆虫資料展

さまざまな種類のチョウやトンボ、ヘラクレスやネプチューンなどの世界のカブトムシが大集合。今年は、地元にはもともと生息せず、環境の変化により見かけるようになった外来種の昆虫について学べるコーナーも。

- 日時：8月1日~7日 / 10:00~17:00
- 入場料：無料
- 場所：レクチャールーム



## イングリッシュガーデン

春夏秋冬、さまざまな表情を楽しめるイングリッシュガーデンは、ベルファームの主役的存在。約1.4haの敷地内に、色とりどりの美しい光景が広がります。なかでも一番人気は、今の時期、初夏が見頃のバラ。107種・約1600株が咲き誇るさまは、まさに圧巻です。栽培方針は、なるべく自然の力に任せたいというもの。お世話はするけれど、手をかけすぎない。それぞれの植物が、好きなように枝や葉を伸ばした、ラフで自然な姿に出会えます。時期によっては、花の見られないこともあります。全て枯れ落ちたように見える冬の枝にそっと出た新芽や、ふくらみ始めた花のつぼみなど、満開以外の植物の様々な姿を発見する楽しみもあります。



## イベント情報

### 初夏のローズフェア

5月14日~6月12日は、見応えのあるバラのイベント、初夏のローズフェアが開催されます。バラ苗の販売もあり、期間中の土日はガイドつきツアー(14時から・無料)も開催されます。5月28・29日には手作り雑貨の店が並ぶ「クラフト&雑貨マルシェINベルファーム」も行われます。



あふれる自然を感じながら  
体を動かせば運動が  
楽しいイベントに変わります

## ネイチャーフィットネス

豊かな自然のなかで体を動かすことを目的とした、珍しい屋外型フィットネスクラブ(会員制)。大空の下での太極拳やウォーキング、広い芝生でのグラウンドゴルフ、さらに専用コートでのパドリングなどの他、ヨガなどの屋内講座もあり、15近くのパログラムを楽しむことができます。午前中の講座をとったあと、園内のショップで買ったお弁当を広場で食べたり、レストランでランチをするのも、会員さんたちの楽しみのひとつ。体を動かすことが義務ではなく、楽しいイベントになると評判です。



▼緑豊かな園内はそのままウォーキングコースにもなっています。



◀体脂肪等を計る機器「Drフィットネス」を使い、会員ひとりひとりの体調管理も行っています。  
※一般の方も500円で測定可



看護職員さんによる血圧測定、体脂肪測定などを通じた健康相談や歯磨き相談(偶数月のみ)を行います。

- 日時：毎月第2土曜 / 9:00~12:00
- 参加費：無料
- 場所：ネイチャーフィットネス事務局
- 主催：三重県看護協会松阪地区支部 三重県歯科衛生士会松阪支部

だれでも参加できます  
まちの保健室

作る、育てる、味わう…  
ものづくりの魅力伝える  
豊富なプログラムの体験講座

ベルファームの体験プログラムの特徴は、幅広いジャンルの講座が用意されていること。農業公園ならではのじゃがいも植付・収穫体験、畑の「画」を借りる「マイ農園」、季節のジャム作りなどの手作り体験…。じっくり本格的に始めたい方から、休日の楽しみに気軽に参加できるものまで、さまざまな人のさまざまな目的に合わせてラインナップを充実させています。

### 農業初心者も大歓迎「マイ農園」



「マイ農園」は、約13㎡の畑を1年単位で作付けできる農園です。「育てる」「収穫する」「味わう」を体験する農業公園ならではのプログラムとしてスタートしました。専門家による学習会や、管理栄養士による料理教室なども開講され、初心者でも農作業を気軽に体験できる実践的な指導を目指しています。また、芋煮会などの収穫イベントも開催。

【利用料(1年分)】  
一般14,000円、会員12,000円(今年度の募集は終了)

### 学びの農場

一日体験で、まずは農作業に触れてみたい、という人にも、じゃがいも植付・収穫、大根収穫体験など、季節ごとにさまざまなイベントが用意されています。休耕期に咲く花々も見物です。

じゃがいも収穫体験：7月中旬～下旬予定  
ただいま9種類のじゃがいもが元気に生育中!



### 手作り体験

スイーツからクラフトまでさまざまな手作り体験講座があります。人気は季節のジャム作り。そのときに農家市場に並んでいる旬の農産物で作ります。他にはハニーキャンドル作り体験なども。

季節のジャム作り：1,200円(10名以上・要予約)  
ハニーキャンドル作り：800円(2名以上・要予約)



### ハチミツ採集体験

地元の養蜂園さんと一緒に、蜂蜜採集の体験ができます。とれたてハチミツの試食もできます。(小学生以上)  
●日時：6月18日、7月16日(雨天・強風の場合は中止) 10:00～11:30  
●定員：各40名(要予約)  
●参加費：一般1,400円、会員1,200円(ハチミツのお土産付)  
●長袖、長スポン、帽子を着用して来てください。(黒っぽい服装は避けてください)飲み物をお持ちください。



〈ひまわりの開花予定〉  
7月中旬～下旬



### 食べ方も楽しみ方も様々 ベルファームの4つのレストラン

- 農場バーベキューレストラン「Mow & Buu」
- 農場レストラン「時のぶどう」
- 田舎の味処「うきさとむら」
- ガーデンカフェ「ルーベル」

ベルファームには、タイプの異なるレストラン、カフェが4つあります。しっかりおなかを満たしたいなら、黒毛和牛や三重県産豚などを堪能できる農場バーベキューレストラン「Mow & Buu」や、モクモク手作りファームが経営する農場レストラン「時のぶどう」を。「匠の館」内にある田舎の味処「うきさとむら」では、地元の食材にこだわった田舎料理が楽しめます。また、手作りスイーツやジェラートの他ランチも楽しめるガーデンカフェ「ルーベル」もあります。

- 農場バーベキューレストラン「Mow & Buu」
- 農場レストラン「時のぶどう」
- 田舎の味処「うきさとむら」
- ガーデンカフェ「ルーベル」

### 匠の館「松阪商会」

松阪をはじめ三重県内の名産品を集めました。松阪牛は精肉から加工品まで。ほかに特産のモロヘイヤを使ったうどんや、松阪の伝統野菜・松阪赤菜の漬け物、人気の調味料など、珍しいものも豊富です。工芸品も、草木染めや松阪木綿、木工おもちゃなどバラエティ豊か。食品から雑貨まで魅力たっぷりです。製作に3年間を費やし、和紙人形で「松阪祇園祭」を再現した見事なミニチュアは必見です。



もちろん、全国に誇る松阪牛も販売。

モロヘイヤ細雪うどん

人気の調味料いろいろ

### ご存知ですか? 「松阪赤菜」

松阪赤菜は、松阪城を築いた蒲生氏郷が、400年前に近江から松阪に伝えたといわれる大根に似た根菜です。一時生産が途絶えていましたが、平成13年からまた栽培が始められました。一般的な食べ方は漬け物。刻んだものをご飯に混ぜておにぎりになると、赤い色が食欲をそそります。癖のない優しい味わいで、食べやすいことも人気の理由です。



### ベルファーム農家市場

地元・松阪のものを中心に、お米や新鮮な農林水産物がそろった「ベルファーム農家市場」。名古屋から月に何度も通うという人もいるほど、こだわりの商品がそろっています。この3月には、お客様の要望にこたえて、地魚コーナーもオープン。松阪や答志島・紀伊長島から新鮮な海の幸が届き、希望すればさばいてもくれる(有料)魅力あるコーナーです。鮮魚だけでなく、干物や佃煮などの加工品も豊富で、伊勢の老舗昆布店「酒徳昆布」コーナーも同時オープン。日本型食生活の多様な食材がそろっています。



ずらりと並ぶ原木しいたけ。肉厚で風味抜群、そして安い!!と大人気。



伊勢の老舗昆布店「酒徳昆布」コーナーもオープン



毎朝地元の農家さんたちが新鮮な野菜を運んで来てくれます。



種類が多いと人気の花売り場。鉢植え・花束ともに充実しています。

松阪牛に原木椎茸、松阪赤菜…  
恵まれた土地で育まれた松阪名産品を  
買って、食べて、堪能する

「育てる」「作る」ときたら、「食べる」もはずせません。ベルファームはおいしいものを「買う」「食べる」両方に力を入れています。「買う」はこの春に地魚コーナーも始まった産直市場「ベルファーム農家市場」と、土産物や工芸品など松阪名産品を集めた「松阪商会」で。「食べる」は、農場バーベキューレストラン「Mow & Buu」や農場レストラン「時のぶどう」など、さまざまなタイプのレストランが4軒あります。肉も魚も野菜もお菓子も…一年中いつでも、美味満載。贅沢で恵まれたこの土地の魅力があらためて実感できます。

# いなべ市農業公園

三重県いなべ市



いなべ市農業公園は、地域の高齢者たちが知恵を出し合い、ゆっくりと手作りで作り上げてきた農業公園です。「エコ福祉広場エリア」と「梅林公園エリア」に分かれており、東海地区最大級の梅林公園とぼたん園は有名です。「見る・遊ぶ・食べる」をコンセプトにしたスローライフを体験でき、癒しに満ちた公園となっています。

- 住所 / 三重県いなべ市藤原町3071
- 電話 / 0594-46-8377
- 入園料 / 無料(有料施設あり)
- 開園時間 / 9:00~16:00
- 休園日 / 水曜(土日祝のみ営業の施設あり)
- アクセス / 東名阪自動車道・桑名ICから約25km
- URL / [http://www.city.inabe.mie.jp/nougyo/nougyo\\_top](http://www.city.inabe.mie.jp/nougyo/nougyo_top)

いなべ市農業公園 検索



## エコ福祉広場 エリア



### ぼたん園

約5,000本のぼたんが咲き誇るぼたん園は東海地区でも屈指の規模です。赤、ピンク、白の様々な品種のぼたんが華麗に咲き競う時期には「ぼたんまつり」が開かれます。



### 先取り花情報

#### ぼたんまつり

各種バザーやいろいろなイベントが行われます。  
●期間 / 4月下旬から5月上旬  
※まつり期間中は入園有料(中学生以上500円)



## Inabe Farm Park

### 芝生広場

小高い丘に広がる芝生広場は、季節の花が咲く花広場に近接しています。小さなお子さん向けのコンビネーション遊具はカラフルで、梅の木をモチーフにした遊具を中心にターザンロープ、ローラー滑り台などがあり、親子で楽しい時間を過ごすことができます。



▲公園では地元のお年寄りの力が活かされています。



### パークゴルフ場



総面積3.2ha、総延長1,745m、日本パークゴルフ協会公認で36のコースを持つパークゴルフ場。年齢を問わずファミリーで楽しめ、誰でも気軽にプレーできるのもうれしい。青空のもと、自然の起伏に富んだコースで爽やかな秋風に吹かれてみませんか。

- 利用時間 / 9:00~16:00
- 定休日 / 水曜
- 料金 / (18ホール) 大人500円、子ども300円 (1日フリー) 大人1,200円、子ども500円
- 貸道具 / 100円
- 問合せ先 / 0594-46-8377 (農業公園管理事務所)



いなべ市農業公園・エコ福祉広場内

### 農業レストラン フラール



地元の新鮮な食材をビュッフェスタイルで食べられます。

- 営業時間 / 11:00~14:00
- 定休日 / 水曜
- 電話 / 0594-46-6370
- 料金 / 特選ビュッフェ…大人1,400円 ランチビュッフェ…大人800円(中学生以上)、子ども500円 追加600円でアラカルト料理もいただけます。

平成21年5月にオープンした農業レストラン。いなべ市内の直売施設や農家から仕入れた、旬の野菜を中心にしたメニューで、ビュッフェスタイルで提供しています。また公園内で栽培されている梅やブルーベリー、タラの芽、トマト、またレストラン直営の畑「ポテンシャル農園」でとれた食材もおいしい料理でいただけます。

# 梅林公園 エリア

2011年  
下期号

38

haの広大な敷地には、大梅林園と梅苑があり、花の時期はあたり一面に梅の香りが漂い、訪れる人を心地よく迎えてくれます。夏には梅の実もぎとり体験やブルーベリー狩りが楽しめる他、わんちゃんにうれしいドッグラン施設、滞在型農業体験施設「クラインガルデン」などが整備されています。



## クラインガルデン

「クラインガルデン」はドイツ語で「小さな庭」。滞在型の貸し農園です。自然に囲まれたエリアに8棟の庭付きの小さな家があり、敷地内の庭で各自が自由に花や野菜づくりを楽しんでいます。

- 施設／休憩宿泊施設(バス・トイレ・キッチン付き一戸建)、農園
- 利用料／500,000円(年間契約・最長5年)、光熱水費別途
- 問合せ先／0594-46-8377(農業公園管理事務所)



## 収穫・手作り体験



### 梅の実もぎとり体験

- たわわに実った梅の実を収穫できます。
- 期間／6月下旬
  - 料金／1,000円(1袋 約3kg)
  - 問合せ先／0594-46-8377(農業公園管理事務所)

### 梅ジュースづくり体験

- 材料はすべて用意されているので、誰でも気軽に梅ジュースづくり体験ができます。
- 期間／6月下旬
  - 料金／1,200円(材料費含む)
  - 問合せ先／0594-46-8377(農業公園管理事務所)



### ブルーベリー狩り

- 自然の中で育った果実は夏の味がいっぱい詰まっています。ブルーベリーの樹は低いので、小さな子どもでも楽しめます。
- 期間／7月下旬～8月上旬
  - 料金／収穫100gごとに200円
  - 問合せ先／0594-46-8377(農業公園管理事務所)

## イチオシ! 梅ジュース うめじゅ

公園内で収穫した梅を使用して、地域の高齢者が手づくりで仕上げた梅ジュースです。梅特有のさわやかな香りと濃厚な味わいをぜひご賞味あれ。オシャレなパッケージはお土産にも最適です。

- 公園内の直売施設で販売(いなべ市内の農産物販売所なども購入可)
- 価格／1,000円(500ml・濃縮タイプ)
- 問合せ先／0594-46-8377(農業公園管理事務所)



ちょっと足を延ばして...



## 紅葉スポット しょうぼうじ 聖宝寺

平安時代初期、807年に伝導大師・最澄によって開基された古刹。回遊式庭園は、平安時代・藤原期の築庭で、四季折々の趣があります。特に秋の紅葉はみごとで、紅葉狩りの観光客が多く訪れます。

- いなべ市藤原町坂本981
- いなべ市農業公園から車で約15分)



### 聖宝寺もみじまつり

- 期間／11月5日～11月29日
- 協力金／200円(高校生以上)
- 駐車場／300円
- 問合せ先／0594-46-6309(いなべ市商工観光課)



### うめぼ〜どっくらん

広い敷地でわんちゃんが楽しく走り回れます。インストラクターが常駐しているので慣れていないわんちゃんでも安心。個別トレーニングもできます。

- 営業日／土・日・祝日
- 営業時間／9:00～16:00(季節により異なる)
- 料金／1匹1,000円
- ※イベントやトレーニングフィールド利用の場合は別途料金が必要
- 問合せ先／0594-46-8377(農業公園管理事務所)

### 先取り花情報

#### 梅まつり

- イベントの催しや農産物の販売などが行われます。
- 期間／3月
  - ※まつり期間中は入園有料(中学生以上500円)

### 大梅林園・梅苑

実梅を中心とした梅林と、花梅を中心とした梅苑があります。春には約100種・4,500本(東海地区最大級)の梅の花が咲き乱れ、東海・北陸地区からの観光客で賑わっています。



海女文化資料館



レトロな雰囲気を持つ資料館は、海女さんの作業風景のジオラマや、磯ノミを使っのアワビ採り体験ができる装置、海女漁の道具や磯着が展示されており、相違の海女文化の歴史やこころに触れることができます。相違観光情報の発信地でもあり、こちらの無料駐車場を利用して、周辺の観光スポットを回ることができます。

- 電話 / 0599-33-7453
- 開館時間 / 9:00~17:00
- 休館日 / 年末年始
- 入場無料、無料駐車場あり



昇龍の松

海女文化資料館の敷地内にある黒松。枝を大きく張り出した周囲3mの大木で、その姿が天に昇る龍に似ていることから「昇龍の松」「開運の松」と呼ばれています。松の幹に手を当てて願えば、願いが叶うといわれています。

海女の家 五左屋



築80年の古民家を移築し、観光施設として再生。1階の和室では、海女さんたちと一緒にところん作りなどの体験が楽しめます。2階のカフェスペースでは、古民家ならではの落ち着いた雰囲気を楽しめます。1階のショップでは、鳥羽の地場産品などが販売されており、相違ならではの土産を手に入れることができます。

- 電話 / 0599-33-6770
- 開館時間 / 9:00~17:00
- 入場無料



気分転換 ちょっとお出かけ  
海女と漁師のまち 相違

三重県鳥羽市

太平洋に面し、鳥羽市の南端に位置する相違町。この地は古くから海女漁が盛んで、「海女のまち」としても有名です。磯の多いリアス式海岸が育む海の幸を楽しみに訪れる観光客も多く、平成21年にはミシュランの旅行ガイド「グリーンガイド・ジャポン」でひとつ星の評価も受けています。

- 〈場所〉 三重県鳥羽市相違町
- 〈アクセス〉 パールロード・相違ICから県道47号経由、約2.5km
- 〈URL〉 <http://www.toba-osatsu.jp/> (相違町内会)



神明神社は相違地区の氏神さまで、天照大神を祀っていた神明八幡宮に、明治以降、地域の神社が合祀され現在は26柱の神さまが祀られています。境内には長寿を守る神木として、周囲1・5・6mの楠の古木(枯木)があります。

また、神社の参道にある石神さんは、神武天皇の母、玉依姫命が祀られているといわれ、古くから女性の願いを必ずひとつ叶えてくれると海女たちから信仰されています。現在はパワースポットとして人気が高まり、全国から多くの女性がお守りを求めて訪ねてきます。



神明神社と石神さん

願いが叶う  
之利益めぐり



海女さんたちが古くから信仰する「石神さん」をはじめ、相違には「利益を得られると伝わるスポットがいくつもあります。女性の願いを叶えてくれる場所から長寿にあやかれる場所まで、観光スポットもあわせて、散策しながらめぐってみましょう。



梵潮寺と長寿蘇鉄

梵潮寺は鎌倉時代後期に即位した後醍醐天皇の勅願により、約700年前に建立された臨済宗南禅寺派の名刹です。門前と境内に植えられている長寿蘇鉄は、寺の歴史とともに成長し、樹齢700年以上の古木は今も健在です。たくさんの子を宿すところから、子孫繁栄・延命長寿と慕われ、地元民に親しまれています。





## 相まかまど

### 相ま漁港前の浜



### 鯨崎おぜごさん



▲「おぜごさん」でもてなして下さった中村美智子さん

海女さんたちが海で冷えた身体を温め、仲間と食事したりおしゃべりしたりして休む海女小屋を、地元では「かまど」と呼びます。相まには港周辺や海岸近くにいくつもの「かまど」を目にすることができます。この「かまど」で、海女さんとおしゃべりしながら、美味しい海の幸をいただけるスポットが「相まかまど」です。現役の海女さんが、漁の体験などを話しながら、目の前で新鮮な魚介類などを焼いてくれます。

- ティータイム(1時間/10時~15時)  
お茶、お餅、貝などのおやつ  
1人2,000円
- ランチタイム(1時間30分)  
サザエ、大アサリ、パタ貝、干物、ウニ飯、お餅など相までとれた旬の食材  
1人3,500円~



問い合わせ  
相ま観光協会 ☎0599-33-6411  
❖ 要予約(2日前までに、4名様以上)  
❖ 伊勢海老・あわび等は別途料金で追加可



### 鯨まつり

毎年7月14日に行われている勇壮な夏祭り。観音様が鯨に乗って現れたという伝説にちなんで始められたこの祭りは、観音様を乗せた大小の鯨神輿が町を練り歩き、クライマックスでは海に入って海の安全を祈願します。その後、宝船が入港し、福まきが行われます。夜には露店が並び、花火が祭りを盛り上げてくれます。



問い合わせ  
相ま観光協会 ☎0599-33-6411

相まで夏を満喫!

### 千鳥ヶ浜海水浴場

かつては「大砂州」と呼ばれていたと伝わる白砂青松のビーチです。太平洋に面し、幅800mもある遠浅で透明度の高い海岸は、夏になると県内外からの多くの海水浴客で賑わいます。



### 海浜公園浅利浜

漁港の整備に合わせてつくられた海浜公園で、夏には海水浴場として賑わいます。的矢湾に面し、波が小さいので子ども連れのファミリーに人気。対岸にはテーマパーク・スペイン村が見え、夕日が美しいスポットです。



### 物知りMemo

#### 【相まの海女さん】

国内でも海女さんが多い三重県。そのなかでも、相ま町は100人ほどの海女さんが生活する、日本一海女さんの多い町です。海女さんには、1人で海に潜る「カチド」と、船で2人で海に出る「フナド」があります。

#### 【石いかり】

海女さんが潜水するときに腰につけるおもりで、古くは石に穴をくりぬいて縄を通したものが使われていました。海女さんがいる民宿の前には、この石いかりが置いてあります。



#### 【ドウマン・セイマン】



海女さんの磯手ぬぐいや磯ノミの柄などにある印「ドウマン・セイマン」。海の災難や「トモカズキ」などの魔物から守るための魔除けです。縦5本、横4本の九字は「ドウマン」と呼ばれ、多くの目があることで魔物をひるませ退散させられると言われていました。星型の印「セイマン」は、一筆書きで同じ場所に戻ることから、潜水しても必ず浮上できると信じられています。

### 菅崎園地



明治44年、菅崎沖の暗礁に乗り上げ沈没した駆逐艦・春雨。事故を知った相まの人々は総出で荒れくう海での救助に当たり、8人の命を救いました。春雨殉難記念碑は、このときの思いや願いを込め、命を落とした44人の乗組員の死を悼むとともに、海の安全を祈るために建てられました。



菅崎園地に建つ展望台。太平洋と的矢湾を一望でき、向かいの岬に建つ安乗燈台を望めます。夕日が美しいスポットとしても有名で、地上高4.5mの展望台に設置された「常永久の鐘」を鳴らしたカプセルは、永遠に愛が続くといわれています。

### 春雨展望台

2012年度  
上期号



### べらいさん

漁師の守り神として、地元の漁師さんたちの信仰を集めています。



### 鯨崎遊歩道



鯨に乗った観音様がこの岬に現れたという伝説から、この名がつけました。鯨のような形をしたこんもりとした岬内には遊歩道が整備されており、「立岩さん」や漁師の守り神である「べらいさん」「恋ヶ浜」「鯨供養の塔」などの史跡やスポットがあります。



### 鯨の岬記念碑

鯨崎の東端に建つ記念碑。天気が良ければ伊良湖岬を望むことができます。



### 立岩さん

恋ヶ浜にある岩で、地元で「立岩さん」と呼ばれ親しまれています。その昔、漁師が後継ぎを授かりたいと早朝にこの石を撫で願えば、立派な男の子が生まれると信じられてきました。



## 宮川山荘とコテージ



メゾネットタイプの部屋もあり山荘の雰囲気を残す宮川山荘。川のせせらぎが聞こえてくるログハウス風の作りのコテージ。2タイプの宿泊施設は、家族連れにもカップルにも大好評です。

【宿泊料金】(曜日・シーズンにより異なる)  
宮川山荘 1人11,550円~(2名以上)  
コテージ 1棟21,000円~(5名まで利用可)



## バーベキューガーデン

コテージと宮川山荘に囲まれた中庭につくられたバーベキューガーデン。レストランから提供されるランチ・ディナーバーベキューが楽しめます。(期間限定・要問合せ)



## 奥伊勢フォレストピア

広大な敷地内を流れる川で川遊びをしたり、アスレチックやテニスコートで汗を流してみる…。体を動かすには最適な環境が整っています。疲れた体は、美肌の湯として親しまれている奥伊勢宮川温泉で癒しましょう。ここを拠点に山歩きを楽しみたい方は、コテージやホテルタイプの宿泊施設を利用されてはいかがでしょうか。深まる秋の紅葉散策に滞在されるのも素敵ですね。



〈場所〉三重県多気郡大台町園993 (アクセス) 紀勢自動車道・大宮大台ICから西に約11km  
〈電話〉0120-017137 (URL) <http://okuseforestpia.com>

## わんぱく広場

子どもたちが大喜ぶ木の遊具が23基も設置された、森の中の公園。少し高度なアスレチック遊具もあり、大人も一緒になって時間を忘れてしまいそう。



## 森の国工房

奥伊勢フォレストピアには、誰でも気軽にモノづくりを楽しめる工房があります。自分の好みのものを作る、家族で一緒に作るなど、さまざまな楽しみ方ができます。

### パン作り教室



粉からつくる本格的なパン作り体験です。持ち込みのトッピングもOKで、自分の好きなパンが作れますよ。

●料金/1,000円  
●所要時間/約2時間30分  
(作業時間は1時間10分程度)

### 陶芸体験教室

手回しろくろを使って、本格的な陶芸体験を。仕上がりも7色の釉薬から選べるので、自分のお気に入りの作品が作れます。陶芸家が指導してくれるので、初心者も安心です。

●料金/大人2,000円  
幼児・小学生1,000円~  
●所要時間/2時間(成型まで)



### 苔玉・ミニ盆栽作り体験



和が見直され、注目を浴びている苔玉・ミニ盆栽が、自分の手で作れます。先生が親切に指導してくれるので、誰でも素敵な作品が作れます。

●料金/苔玉1,000円、ミニ盆栽2,000円~  
●所要時間/40分~1時間

### わさび加工体験

大杉谷渓谷の清流で育ったわさびを使って、わさび漬けや茎の三杯酢漬けなどの調理体験ができます。ベテラン講師が指導にあたってくれるので、お土産としても最適な一品ができてあがるでしょう。

●料金/1,050円 ●所要時間/30分



森の国工房の予約・問合せ  
大台町観光協会 ☎0598-84-1050  
(2日前までに予約が必要)



2012年  
下期号

気分転換 ちよっとお出かけ

美しく豊かな大自然に恵まれた、大台町宮川流域。平成3年以降、10度にわたり水質日本一を獲得、さらに平成18年度からは5年連続で1位に輝くなど、清流の美しさは日本でも有数です。今回ご紹介する奥伊勢フォレストピアを始め、宮川流域には自然を満喫できる風景や施設が点在しています。秋から冬にかけても宮川は楽しさがいっぱい！ぜひご家族でドライブ旅行を楽しまれてはいかがでしょうか？

# 奥伊勢フォレストピアと 清流宮川・秋の紅葉

三重県大台町



## 奥伊勢宮川温泉

主成分の重曹泉は肌がなめらかになり、入浴後は爽快感・清涼感が得られる心地よさがあります。スポーツや山歩きで疲れた体をほぐしてくれる効果も。内風呂、露天風呂、打たせ湯、薬草風呂があり、なかでも薬草風呂は、月ごとに違う香りが楽しめ、癒し効果も抜群です。

### 【入湯料】

大人600円、小学生・70歳以上400円、  
幼児(3歳以上)300円



気分転換ちよっとお出かけ

# ちよつと足を延ばして 自然を満喫!

夏の川遊びや鮎釣りでクローズアップされる大台町ですが、季節を問わず、見どころは満載です。とくに、登山を楽しむ愛好家らの間では、大台山系の紅葉の美しさは知られているところです。これからの季節、宮川流域付近で楽しめる施設やスポットをご紹介します。

## 紅葉を愛でる

晩秋になると、宮川流域や里山、大杉登山道周辺などで赤や黄色に色づく景色を楽しめます。最近では山ガールも増えてきて登山を楽しむ方も多くなりまして、たが登山道や林道に入る場合は、地元で詳しい方と一緒に、充分な装備のうえ、散策を楽しんでください。

2012年  
下期号

観光・施設の問合せ 大台町観光協会 / ☎0598-84-1050



## 宮川大橋

大宮大台ICから、宮川沿いに上流へ向かって4kmほど走ると見えてきます。川べりに広葉樹林がせり出し、小さな赤い橋と相まって、美しい景色を見せてくれます。近くの情報ステーション「もみじ館」周辺でも紅葉したもみじが美しい。

## 北総門山

奥伊勢フォレストピアからほど近い北総門山。山頂はススキの群生が黄金色に美しく輝きます。少し下ると遊歩道が整備された「健康の森」があり、黄色に色づいたヒメジャラも素敵です。

## 大和谷

宮川ダム北部に位置する大和谷は、四季を問わず美しい景色が望めます。とくに秋の紅葉はさまざまな色が混じり合った姿が山歩きの人々を癒してくれます。



## 六十尋滝

宮川ダム西にある六十尋滝も紅葉の名所。赤いもみじの向こうに落ちる滝を見つめると、心が落ち着いてきます。登山道をさらに奥に進むと有名な千尋滝があります。



## 体験メニュー

要予約

### そば打ち

試食後、余った蕎麦は持ち帰りできます。  
料金／一鉢2,500円(4~5人分)

### こんにやく作り

生芋からこんにやくを作ります。  
持ち帰りできます。  
料金／一鉢2,500円(約15個)

### 朴の木団子作り

地元名物の朴の木団子作りができます。  
持ち帰りできます。  
料金／一鉢2,500円(約25個)

※希望日の3日前までに、時間帯や参加人数を相談の上、お申し込みを。料金は参加人数により、変動する場合があります。

問合せ 大台町観光協会 / ☎0598-84-1050

## 地元のやさしさ・

おいしさに触れる

## 体験工房 夢楽憩の館

栗谷地区の活性化を目的として、地元の有志により作られた憩の場。住民自作の炭焼き小屋やツリーハウスもあります。木の香りが漂い、囲炉裏や縁側もあって、田舎のおばあちゃんの家に戻りたような気分。日曜日には、地域のお母さんたちが地元野菜や山菜で作ったボリューム満点の「郷土食ランチ」がいただけます。(10名様以上の予約のみ受付。800円)



## 冬の奇祭を楽しむ

## 五身懸祭



川添神社で毎年2月下旬に行われます。五身(5柱の神)を懸ける(祭る)という意味があり、「まだらーく、まんだい」と唱えながら、365本の団子を刺した藁のホデと一緒に町内を練り歩き、豊作を祈願します。30m離れたへ矢を射る「弓射神事」、稲の苗になぞらえた松「苗松」の穂先を争奪する「苗松神事」も見逃せません。

川添神社 / 大台町栃原1481



## レストラン アンジュ



奥伊勢フォレストピア内にある、カジュアルなフレンチレストラン。ランチはお値打ちなメニューを数種類ご用意。旬の食材を使った味のよさもさることながら、ボリュームもたっぷりなので、お腹と相談してメニューセレクトを。ディナーでは、地元産の旬の食材を活かしたフレンチが中心に。最近注目のジビエ料理もいただけます。



ワンプレート  
ランチ  
1,400円

ワンプレートに、オードブル、肉料理、魚料理などいろいろな料理を盛り込んだ、おすすめランチ(スープ、パンまたはライス、デザート、コーヒーまたは紅茶つき)

- ランチ / 11:30~14:00 ランチメニュー 800円~
- ディナー / 18:00~20:00 ※ディナーのみ要予約

奥伊勢フォレストピア  
問い合わせ ☎0120-017137

外宮前名所  
「御饗井」

「御饗」とは…  
饗とは「食べもの」という意味で、大切なもの、尊いものであることから「御」がついています。  
伊勢神宮外宮では、毎日朝夕2度、神々にお食事を用意する「日別朝夕大御饗祭」が、1500年間1日も欠かさずことなく続けられています。そんな外宮さんのおひざ元から「食の大切さ」「食への感謝」を発信しようと、この御饗井は生まれました。

- 「御饗井」は…
- その一 「米」は三重県産を使っています。
  - その二 「メインの食材」は、伊勢志摩地方産です。
  - その三 「水」は清流宮川や五十鈴川のものを使っています。
  - その四 「安全安心な食材」を使い、健康に配慮した調理をしています。
  - その五 この井に關わるすべての食材や人びとに対して、「おかげさま」の心で作っています。



**1 生しらす丼**  
鳥羽・答志島産のしらすを生のまま豪快にのせました。  
浜与本店外宮前  
TEL.0596-63-8003

**2 宮川火花海鮮丼**  
マグロ、鯛など、伊勢志摩の旬の魚と野菜を盛りつけて、「宮川の火花」をイメージした海鮮丼。  
tsumiki (つみき)  
TEL.0596-29-1329

**3 海幸山幸丼**  
伊勢・御園産のお米と多気産の伊勢いも、その日に市場から仕入れたマグロを使用。  
幸(ゆき)  
TEL.0596-23-8357

**4 どん丼火**  
五穀豊稔米のご飯の上に、伊勢うどんのタレで味付けした伊勢地鶏をのせ、大晦日の「どんと火」をイメージ。  
Cafe&Bar Sunny Place  
TEL.0596-63-6664

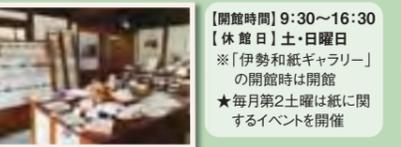
**5 どん丼火**  
伊勢うどんのタレで炒めた伊勢地鶏をベースに、きざみのり、しらす、なます大根と唐辛子をのせた丼。  
若草堂  
TEL.0596-24-3210



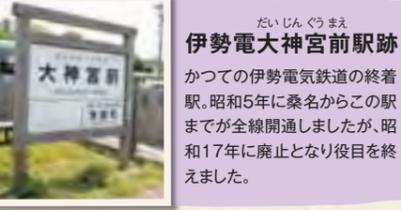
じょうみょうじ  
**常明寺**  
もと倭町にあった古刹、常明寺の名跡を継ぐ。日蓮宗の寺院。



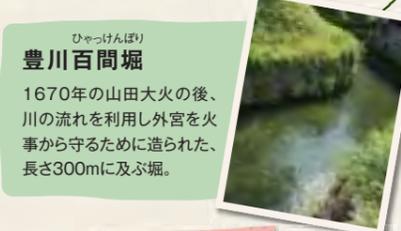
**伊勢和紙館**  
(大豊和紙工業株)  
手漉きや機械抄きの各種伊勢和紙や、伊勢和紙で作られた小物を販売。また、館内に設置された大判のインクジェットプリンタなど印刷用の機材が、伊勢和紙を使った作品制作の場として写真愛好家などに活用されるなど、和紙の品質や高い印刷技術による使いこなしの提案は、利用者から厚い信頼を得ています。



まんきんたん  
**小西高金丹**  
創業は1676年、300年以上もこの地でお伊勢参りの旅人のために薬を売り続けています。伊勢まちかど博物館のひとつ。



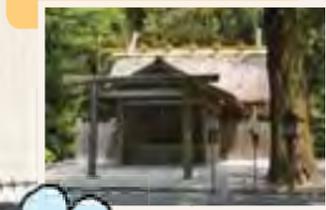
だいにんぐうまえ  
**伊勢電大神宮前駅跡**  
かつての伊勢電気鉄道の終着駅。昭和5年に桑名からこの駅までが全線開通しましたが、昭和17年に廃止となり役目を終えました。



ひゃくめんぼり  
**豊川百間堀**  
1670年の山田大火の後、川の流れを利用し外宮を火事から守るために造られた、長さ300mに及ぶ堀。

**せこ世古**  
お伊勢さんの町並みで目につく、家々の間の小さな路地のことを「世古」と呼びます。江戸から明治時代にかけては、130以上もありましたが、大半は戦後に姿を消しました。現在も残る世古には当時の面影が偲べます。

つきよみのみや  
**月夜見宮**  
外宮から北へ約300mにある外宮別宮です。月夜見尊と、その荒御魂の月夜見尊荒御魂の2柱が祀られています。



かみじ  
**神路通り**  
外宮の北御門から月夜見宮までの幅員4m程度の一直線の道は「神が通る道」とされています。通りの真ん中は神さまが通るので、人は端を歩くように子どもに教える風習があります。



**外宮参道**  
伊勢市駅から外宮に通じる参道。かつては神都電車の路線でもあり、多くの旅館が軒を連ねていました。現在は山田館とつるや旅館が残るほか、お酒落なお店が建ち並んでいます。



**山田館**  
約100年近くの歴史をもつ木造三層楼の由緒ある旅館。レトロな雰囲気でも今なお人気があります。



**ゲストハウス 風見荘**  
築80年以上の歴史を持つ旅館をオーナー自ら改装したゲストハウス。一人旅におすすめの素泊まり宿は、新しくもどこか懐かしい。



なんのきづか  
**何木塚句碑**  
1688年、山田の俳人たちと一座したときの芭蕉の句が刻まれています。祖霊社境内に建てています。



**せんぐう館**  
式年遷宮の資料館です。外宮正殿が原寸大で再現されているほか、神宝の調製工程、遷宮祭の様子が展示されています。シアター・検索コーナーなども充実しており、神宮や神道について深く知ることができます。



【開館時間】  
9:00~16:30  
(入館は16:00まで)  
【休館日】  
毎月第4火曜日  
(祝日の場合は翌日)  
【問合せ先】  
0596-22-6263

**フランス料理 ポンヴィヴィアン**  
通信省の山田郵便局電話分室として、大正12年に建造された建物で営業するレストラン。ティールーム、ブラスリー、フレンチレストランがあるので、好みのスタイルで食事ができます。



**伊勢神宮 外宮**  
外宮の正式名は「豊受大神宮」で、お米をはじめ衣食住やすべての恵みを与えてくださる産業の守護神・豊受大神が祀られています。神聖な森に包まれて建つ正宮の前に立つと心が引き締まります。



MAP A  
**外宮周辺**  
GEKŪ AREA

2013年度  
上期号

**外宮周辺 & 河崎地区**

今年10月に、20年に一度の遷宮が行われる伊勢神宮。外宮周辺では、その昔からお伊勢参りの賑わいにより、独特の文化や歴史を残してきました。また遷宮を記念して昨年新しく建てられた「せんぐう館」をはじめ、外宮周辺やすぐ隣の河崎地区では、新しい賑わいも生まれています。今回は、それぞれの街なかを、ゆったり歩きながら新しい発見に出会いましょう。



ぶらり街なか散歩

伊勢市

河崎で 買ってみよう

食べたい、

1 伊勢河崎町家とうふ

築100年の町家を再生し、豆腐を専門に扱うお店。地元の大豆「ふくゆたか」と尾鷲のにがりを使って作られた豆腐は、豊かな味わいと滑らかな口当たりで人気です。

【営業時間】とうふ販売 10:00~18:00  
レストラン 11:00~14:00  
【定休日】火曜日 【問合せ先】0596-25-1028



今日のおまかせ御飯1,000円(税込)  
豆腐や大豆を中心にした11品▶

2 月の魚

古い蔵の入口から中に入るとそこはレトロな空間。アンティーク着物の生地で作られた雑貨やアクセサリ、作家もの銀製品や器などが並ぶ個性豊かな雑貨屋さん。

【営業時間】11:00~19:00  
【定休日】火曜日(祝日の場合は翌日)  
【問合せ先】0596-26-2008



3 モナリザ スーベニア&カフェ

築100年の砂糖問屋の石蔵をリノベーションしたカフェ。店内の一角にはクリエイティブユニット「EMELON」が生み出したお洒落な商品がいっぱい。ハイセンスな伊勢のお土産はこちらがオススメです。

【営業時間】11:00~18:00(ランチタイム11:00~15:00)  
【定休日】不定休 【問合せ先】0596-22-7600

▼ササササササササ中(「サトナカ」と読む)  
塩・米・酒と三種類の味のクッキーが楽しめる



◀チキンポンプリ  
(ドーナツ・ドリンク付き)  
980円(税込)  
しょうゆだれでさっぱりした和風です。



◀タイカレー(ドーナツ・ドリンク付き)  
980円(税込)  
スパイスの効いた本格的な辛さ

商人蔵

伊勢河崎商人館の向かい、川沿いに建ち並ぶ3つの商人蔵には、カフェや雑貨、食品などを扱うミニショップがたくさん入っています。

【開館時間】10:00~17:00  
【休館日】火曜日(祝日の場合は翌日)  
【入館料】無料



エスサイダー  
1本/190円(税込)  
明治から昭和にかけて河崎で造られていた「エスサイダー」を復刻して販売。爽やかな後味が人気。



**河崎「川の駅」**  
勢田川沿いに佇む風情ある建物です。4月~11月の第1・第3日曜日は勢田川を遊覧する木造船「みずき号」が就航。(有料)



**伊勢河崎商人館**  
江戸時代中期創業の老舗酒問屋の建物を修復した施設。往時の風情を残す応接室や茶室、庭園などを見ることができます。

【開館時間】9:30~17:00  
【休館日】火曜日(祝日の場合は翌日)  
【入館料】大人 300円  
高・大学生 200円  
小・中学生 100円  
幼児無料  
【問合せ先】0596-22-4810

**伊勢春慶デザイン工房**  
江戸時代から昭和30年代まで伊勢で製造されていた漆器「伊勢春慶」が展示・販売されています。

【開館時間】10:00~16:00  
【休館日】日曜日  
【入館料】無料  
【問合せ先】0596-29-1285

**河辺七種神社**  
河崎の氏神さま。7月14日に開かれる天王祭は「天王さん」と呼ばれ、地元住民で賑わいます。境内には樹齢600年の大楠があります。



**せともの屋「和具屋」**  
元禄年間創業と伝えられる老舗の陶器問屋。現在の当主は15代目。入口から蔵の奥まで約64mあり、かつて使われていた運搬用のトロコレールが今も残っています。伊勢まちかど博物館指定。



道標

「宮川道 さんぐう道」と刻まれた道標が、通りの辻に建っています。



古本屋「ぼらん」

築200数年の町家を改装した町の古本屋さん。古本だけでなく、懐かしいレコードも販売されています。



珈琲屋「河崎蔵」

築160年の重厚な蔵を改装した趣きのあるカフェ。ジャズが流れるなか、焙煎したてのコーヒーをいただけます。伊勢まちかど博物館指定。



情緒あふれる河崎をぶらりしてみる

江戸時代から勢田川の水運を利用し、問屋街として発展した河崎地区。かつては「伊勢の台所」とも呼ばれ、伊勢神宮への参拝客をもてなす町として賑わっていました。現在は勢田川沿いに約1km、当時の面影を残す町並みが続き、古い蔵を利用したカフェやショップに観光客が集まっています。

外回りから河崎の魅力を発見しよう

MAP B 河崎地区 KAWASAKI AREA

2013年度 上期号

食べてみたい 買ってみたい

1 trattoria TOTTI (トラットリア・トッティ)

古民家をリノベーションしたイタリアンレストラン。大通りから少し離れたことで、隠れ家的に好む常連客で賑わうお店。安くておいしい食材を仕入れているため、価格以上の味を楽しめます。

【営業時間】ランチ 11:30~16:00  
ディナー 18:30~24:00  
【定休日】日曜日 【問合せ先】090-1981-3488



週替わりのバスタランチ 1,000円(税込)  
前菜、メイン(パスタまたはピッツア)、飲み物

2 奥山銘木店・GOCYI CAFE (ゴチィ カフェ)

先代が銘木を扱う商売をしていたので屋号が「奥山銘木店」。店主が代替わりして、2006年から書籍を扱うお店になりました。この書店で扱う書籍は、すべて店主の奥山さんが選んだものばかり。アートやカルチャー系などこだわりの本も多く、本屋版セレクトショップとして本好きのファンも増えています。

奥山銘木店  
【営業時間】11:00~20:00  
【定休日】水・第3日曜日  
【問合せ先】059-226-2621



軒を並べる「GOCYI CAFE」は、奥山さんの家族が営むカフェ。お店の内装もメニューもナチュラル系なので、心が安らぎます。もちろん隣りの「奥山銘木店」で買った本を読みながら自分流の過ごし方もできますよ。

GOCYI CAFE (ゴチィ カフェ)  
【営業時間】13:00~19:00  
【定休日】火・水・第3日曜日  
【問合せ先】059-246-8857



秋のおすすめメニュー▶  
バナナとクルミのマフィン230円  
チャイ580円

津市のまん中に 伝わる伝統芸能

わけべちよう どうじん 分部町の唐人踊り

大門からフェニックス通りを挟んで南側に位置する分部町(現東丸之内)。この町に古くから伝わる「唐人踊り」は、県無形民俗文化財です。江戸時代の使節團「朝鮮通信使」をまねたものと言われており、仮面とトラ柄の衣裳を着け、鉦やラッパを鳴らしながら踊り、練り歩く姿は、秋の「津まつり」や「高虎楽座」で見ることができます。



津市まん中広場

2005年、津市の中心部に市民の憩いと集いの場として「津市まん中広場」がオープン。国道23号とフェニックス通りの交差点に面する角地で、さまざまなイベントが開催されています。



とうせしばし 塔世橋  
江戸時代から安濃川にかかる橋で、この橋より南を橋内、北を橋北と呼びます。橋の近くに戦災の記録として高欄が残されています。

大門立町  
「だいたて」の愛称で呼ばれる大門の商店街。津観音への参道につながる「だいたてアーケード」があります。

津観音

日本三大観音のひとつで、正式には「恵日山観音寺」と言い、真言宗の古刹です。御本尊は秘仏の聖観世音菩薩で、その昔、阿漕浦の漁夫の網により出現したと伝えられています。毎月18日には「津観音縁日にぎわい市」が境内で開かれています。



津市

2013年度 下期号

岡三証券グループ津ビル・プラネタリウム

2013年10月に新築移転したこのビルは、1階にテレビのサテライトスタジオ、4階は世界最高峰の解像度を誇るプラネタリウムが設置されています。プラネタリウムは来年春より、津市の小学校向けに学習投影が始められる予定です。



蜂蜜まん本舗の「蜂蜜まん」

創業45年、水谷養蜂場ゆかりの初代が「蜂蜜をもっと身近に」との想いから生み出した名物饅頭。焼きたてをほおぼると皮はパリッ、中のこしあんは熱々、そしてほんのり蜂蜜の風味が広がります。



1個 50円▶

お城公園・お城西公園

明治の終わりに津城跡の外堀が埋められ、新しい道や町の誕生とともに城跡周辺が整備され、お城公園が生まれました。津市役所北側のエリアはお城西公園と呼ばれ、毎年秋に津まつりのイベント会場としても利用されています。



津城跡

安濃川と岩田川を天然の大外堀として、織田信包が津城を創築。江戸初期に藤堂高虎の手で近代城郭に改修されました。明治の廃藩置県により廃城となり、現在の隅櫓は1958年に復元されたもの。お城公園として市民に親しまれています。



だいたてアーケード

毎年10月上旬に行われる津まつりでは、このエリアを中心に多くの露店が並び、2日間の祭り期間中の人出は30万人を超えます。



千寿の「天むす」

昭和30年代、大門の千寿で「天むす」は、生まれました。今も変わらず守り続けられている味は、おむすびとえび天の絶妙なバランスが命です。

1個 130円(注文は5個から)▶



フェニックス通り

津市中央からなぎさまちを結ぶ道路は「フェニックス通り」の愛称で市民に親しまれています。1967年に植えられた区間のフェニックスは、6m間隔で99本。津まつり開催時には、歩行者天国になります。



津なぎさまち 旅客ターミナル

伊勢湾汽船



津なぎさまち

津松阪港の港湾と商業施設を総称してこう呼びます。中部国際空港への海上アクセスの拠点として2005年に開港しました。敷地内には「旅客ターミナル」のほか、展示や販売に使用できる「交流広場」、飲食店や雑貨店が集まる「ベイシスカ」があります。



賀崎灯台

津市の「安濃津」は、かつて日本三大津のひとつで、水上交通の重要な拠点でした。この灯台は1809年、津藩が船を安全に港に誘導するため、賀崎常夜灯を設置したのが始まり。今も伊勢湾を航行する船の安全を見守っています。



橋内地区 & 橋北地区

津市は2004年の市町村合併により、人口約28万人の都市になりました。中心市街地では、県立博物館やプラネタリウムなどの新しい文化施設の誕生により、文化的な街へと生まれ変わろうとしています。今回は、芸術の秋にふさわしい賑わいと楽しみを探しに出かけましょう。



# 津の新しいランドマーク

## ② 四天王会館

四天王寺の敷地内に建つ昭和なレトロ感あふれる3階建てのビルは、もともと幼稚園の施設として利用されていたもの。現在は、1階に喫茶店とギャラリー、2階は雑貨屋とデザインラボ、3階は小劇場とトリプレス編集室と、個性あふれるテナントが入っています。各テナントが自主企画でイベントを実施したり、会館全体でひとつの文化シーンを作る不思議な商業施設で、津の新しいランドマークとして、若者たちが集うスペースになっています。

<http://shitennoikaikan.com/>



### VOLVOX (四天王会館1階)

幼稚園の教室跡をクラフト・アート作家らの手でリノベーションした表現空間(ギャラリー)。月2~3回の展覧会は、絵画、写真、陶、ガラス、布など、バラエティに富む内容が魅力。展示作品は購入も可能。

会期・時間は展示内容により異なる。  
【問合せ】 [office.volvox@gmail.com](mailto:office.volvox@gmail.com)  
<http://www.volvox-stnk.net/>



### ノビ文具店 (四天王会館2階)

菟野にある雑貨屋Noviの2号店。文具を中心にセレクトされた雑貨のお店です。オーナーがこだわって集めた雑貨は、ここだけでしか買えない品々も多いのだとか。ミニ企画展もあり、女性に人気のショップです。

【営業時間】 12:00~19:00  
【定休日】 水・木曜  
【問合せ先】 059-227-8321  
<http://www.novi-zakka.com/>



### ハッチラボ (四天王会館2階)

ノビ文具店と同室にあるデザインチームHUTCHのショップ兼ギャラリースペースです。オリジナルデザインの子どもサイズTシャツが人気。子どもを対象にしたワークショップも開催されています。

【営業時間】 12:00~19:00  
【定休日】 水・木曜  
【問合せ先】 [info@hutch-frame.jp](mailto:info@hutch-frame.jp)  
<http://hutch-frame.jp/lab/>



## 三重県立美術館

1982年に中部・東海地区初の本格的な美術館として開館しました。2003年には柳原義達記念館が開館。日本の近代洋画のコレクションが充実しており、敷地内には素晴らしい屋外彫刻も点在します。館内には県民ギャラリーやミュージアムショップ、レストランも併設されています。

【開館時間】 9:30~17:00(入館は16:30まで)  
【休館日】 月曜日(祝日の場合は翌日)  
          年末年始(12月29日~1月3日)  
【問合せ先】 059-227-2100  
<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/>



## 三重県総合文化センター

1994年に開設された複合文化施設。複数の施設が中庭を囲むように配置されており、それぞれの施設は、空中回廊で行き交うことができます。オペラ・コンサート・ミュージカルなどに対応できる「三重県文化会館」の大・中・小ホール。広場の地下に広大な蔵書を有する「三重県立図書館」、社会人の学びの場となる「生涯学習センター」「男女共同参画センター」「放送大学学習センター」などがあります。休日は毎月1回、広場で「手づくり市」が開催され、大勢の市民で賑わっています。

開館時間・休館日・お問合せ先等は施設によって異なります。  
<http://www3.center-mie.or.jp/center/>



MAP B  
2013年 下期号  
橋北地区  
KYOHOKU AREA

### 津借楽公園

昔は「御山荘」、または「御山荘山」といって、津藩第11代藩主・藤堂高猷公が安政年間(1854~60)に別荘を設けたのが始まりです。丘陵や谷の趣が十分に生かされた園内は、春の桜や紫つじ、秋の紅葉が美しいです。またデゴイチの名で親しまれているD51形蒸気機関車も保存されています。

### 三重県立博物館

三重県総合文化センターの正面に、現在開館準備中の「新・三重県立博物館」。借楽公園横の建物が老朽化したため、来年移転し、オープンする予定です。新しい博物館のオープンに向けて、イベントも随時開催されています。開館までの動きはホームページで公開されています。  
<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/haku/>

### 食べてみたい

#### 1 Musee BonVivant(ミュゼ ボンヴィヴァン)

美術館の敷地内にある、本格的フレンチが味わえるレストラン。アートを楽しんだあとのお食事やカフェに贅沢な気分が味わえます。扱う食材は地元の良質な食材がメインで、ジビエにも力を入れています。

【営業時間】 カフェ 10:40~16:45  
                  ランチ 11:30~14:00  
                  ディナー 17:30~19:30(コースのみ)  
【定休日】 月曜日(美術館休館日)  
【問合せ先】 059-223-7070  
<http://www.bonvivant1983.com/musee/>

ランチプレート 1,890円(税込)▶  
前菜またはスープ、メイン、パン、飲み物  
※プラス500円で鹿肉料理をお楽しみいただけます。

津市の文化ゾーンをぶらりしてみる

JR近鉄津駅は、東口と西口にわかれています。東口に広がる商業地に対し、西口は新しい住宅地や公園、文化施設が点在しています。2014年に開館予定の三重県立博物館の外観も現れてきましたので、ちよつとアカデミックな気分が散策してみましょ。

ぶらり街なか散歩

## 三重県農協健康保険組合

〒514-0009 三重県津市羽所町525番地の1

TEL 059-229-9220

URL : <http://www.jamiekenpo.or.jp/>

e-mail : [jakenpo@kenpo.jamie.or.jp](mailto:jakenpo@kenpo.jamie.or.jp)

2014年7月発行

